

# 2019年度 事業報告書

2019（平成31）年4月1日

～

2020（令和2）年3月31日

公益社団法人 札幌聴覚障害者協会

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-358

札幌市視聴覚障がい者情報センター内

TEL : 011-642-8010 ・ FAX : 011-642-8377

メール : houjinjimukyoku@sadeaf.jp

## 【2019年度事業実施報告】

はじめに

当法人は、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深め、その社会参加を促進するため、聴覚障害者の福祉の増進に関する事業を行ない、もって社会福祉の発展に寄与することを目的とし、定款に掲げる次の事業を行なった。

- (1) 聴覚障害者の福祉向上に関する事業
- (2) 聴覚障害者の生活相談及び生活支援に関する事業
- (3) 聴覚障害者の社会啓発運動に関する事業
- (4) 聴覚障害者の広報・啓発に関する事業
- (5) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業
- (6) 聴覚障害者の文化教養・スポーツに関する事業
- (7) 手話通訳者養成事業
- (8) 手話通訳者派遣事業
- (9) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業
- (10) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センター事業
- (11) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく移動支援事業
- (12) 介護保険法に基づく居宅介護サービス事業及び介護予防サービス事業
- (13) 介護保険法に基づく地域密着型サービス事業及び地域密着型介護予防サービス事業
- (14) 介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業
- (15) サービス付き高齢者向け住宅事業
- (16) 聴覚障害者の厚生福利及び相互親睦に関する事業
- (17) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

公益目的事業などの特徴的なこと

1. 職員の確保、力量の育成、待遇面の改善が課題でしたが、人材確保は事業説明会の開催、力量の育成は研修会の開催、毎年度待遇面の見直しを図る努力をしています。
2. 児童分野の事業（デイサービスなど）について取り組みは特にありません。
3. さっぽろ聴覚障害者介護支援センター「デイサービスほほえみ白石」は2020年4月中の再開に向けて準備します。

4. さっぽろ聴覚障害者介護支援センター「居宅介護・訪問介護事業ヘルパーステーションほほえみ白石」は、人員の拡充ができず2020年6月30日に閉鎖することになりました。

## 運動面の特徴的なこと

### 1. 一般財団法人全日本ろうあ連盟の動き

#### ① 手話言語法の早期制定に向けた取り組み及び手話現条例の広がり

- ※ 2019年夏の参院選に向けて、各政党の政策提言に盛り込んでもらえるよう「手話言語法」の早期制定にむけて、政策提言に盛り込むこと及び、言語法に対する政党の見解教示をと要望を行いました。
- ※ 手話言語条例成立自治体は、28道府県/12区/244市/48町/1村の計333自治体となりました。（2020年04月02日現在）
- ※ 北海道は、道と22市/5町の計28自治体（2020年04月02日現在）で制定され、情報・コミュニケーションに関する条例と手話言語条例の両方を制定したのは、北海道、札幌市、小樽市です。
- ※ 手話ができる街づくりへの取り組みを広げていく過程が、手話言語法制定に向かう追い風となるよう札幌でも取り組んでいきます。

#### ② 強制不妊手術全国調査

- ※ 調査の結果、全国で168人（男性45人、女性123人）が判明しています。2020年3月31日時点
- ※ 旧優生保護法裁判に対する連盟の取り組み
  - (1) 裁判及び被害者支援
  - (2) 旧優生保護法救済法案対策
  - (3) 研究調査
  - (4) 学習会、啓発活動
  - (5) 権利保障のための取り組み（社会資源充実、子育て・高齢・教育サポート）が行われています。私たちが札幌で起こされた強制不妊裁判の傍聴、学習会への参加などの形で連携していきます。

### 2. 障がい者コミュニケーション促進委員会の開催

13団体で構成され、条例の施策等について意見を聞くことを目的に設置された委員会です。協会から、高嶋正博常務理事兼事務局長を派遣しています。

今年度も開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期になりました。

この会議は、年に1～2回ほど開催される予定です。

条例を活かすため、手話が通じ合う環境づくりに向けて手話普及関連事業のデータを市政に反映させる取り組みが必要です。

13団体（札幌市精神障害者家族連合会、北海道自閉症協会、札幌手話通訳問題研究会、札幌市身体障害者福祉協会、札幌市視覚障害者福祉協会、点訳奉仕むつの会、要約筆記サークルふきのとう、札幌市手をつなぐ育成会、札幌聴覚障害者協会、札幌盲ろう者福祉協会、札幌市中途失聴・難聴者協会、札幌学院大学、日本ALS協会北海道支部

## 【公益目的事業】

### 【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業

#### I 手話通訳者の派遣・認定・研修

手話の普及並びに手話通訳者の認定・登録・更新と、聴覚障害者に対する理解を深め、聴覚障害者と聞こえる人の円滑なコミュニケーションを目的とし、依頼に応じて手話通訳者を派遣した。

#### 1. 手話通訳者派遣事業の実施（札幌市委託事業）

ろう者等と聞こえる人との意思の疎通を円滑にするため、手話通訳者を必要とする場合に派遣した。

期 間：2019年4月～2020年3月（年間）

場 所：原則として札幌市内

受 付：手話通訳者派遣室

（1）派遣事業の実績及び近況報告 4,763件+2,210件 = 総件数 6,973件

年度	2018年度 4,751件					2019年度 4,648 件						
	区分	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	取り 消し
計			専通	登通	計			専通	登通			
医療・ 保健	3,339	2,996	1,148	1,848	3777 :16	3,256	2,946	940	2,006	3614 :43	273	132
(内、介護 保険)	455	451	209	242	498 :48	454	438	173	265	432: 05	21	19
司法	105	101	86	15	108: 10	95	92	82	10	95: 50	15	4
教育・ 保育	157	179	70	109	282: 45	170	177	65	112	260: 45	19	6
労働・ 雇用	161	172	73	99	219: 05	172	183	79	104	231: 55	19	11
地域・ 住宅	46	47	14	33	72: 00	39	38	6	32	43: 25	5	0
人間 関係	26	24	3	21	41: 25	43	31	10	21	49: 55	15	1
文化・ 教養	113	145	47	98	375: 00	122	209	40	169	589: 30	35	23
社会 生活	425	446	249	197	679: 25	403	418	169	249	662: 20	64	23
その他	527	641	636	5	340: 40	463	554	551	3	288: 30	5	3
(来所者)	535	535	535			414	414	414				
(電話通訳)	534	534	534			481	481	481				
(TV電話)	108	108	108			109	109	109				
(FAX対応他)	204	204	204			188	188	188				
合 計	4,899	4,751	2,326	2,425	5895 :46	4,763	4,648	1,942	2,706	5836 :53	450	203

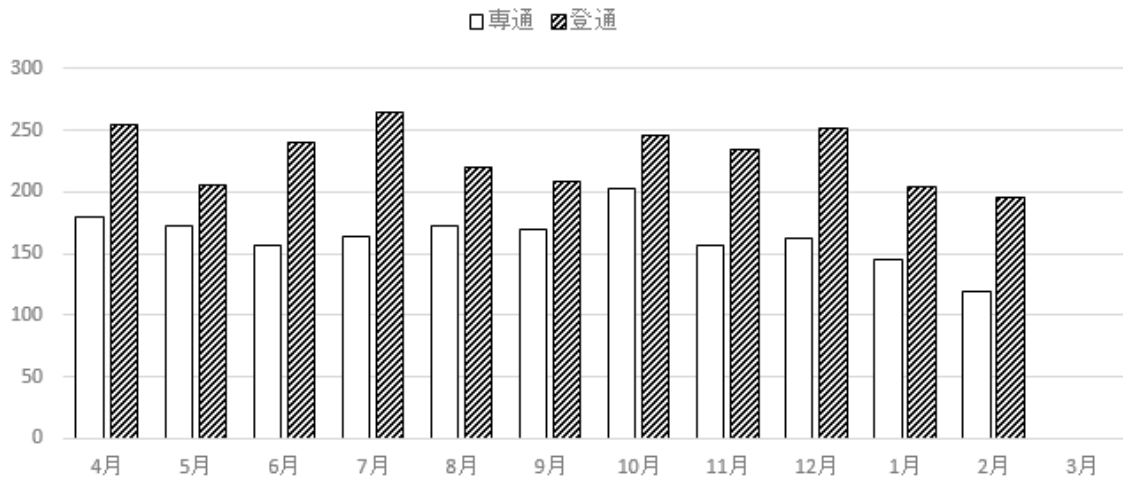
※介護保険の内容：認定調査・ケアマネジャーモニタリング・訪問看護  
往診・担当者会議 他

※「その他」は来所対応が15分を超えた時には、依頼件数に含めている。それ  
以外は下記の通り。

※別表参照

区分	来所者	電話通訳	TV電話	FAX対応他	合計
2018年度	877	214	563	927	2581
2019年度	682	190	558	780	2210

(2) 毎月の派遣件数の比較（専従手話通訳者&登録手話通訳者）



(3) 札幌市手話通訳者状況報告（2020年3月31日現在）

専従手話通訳者 9名                      登録手話通訳者 55名

※資格取得状況（専通・登通含む）

手話通訳士 35名      統一試験（手話通訳者）46名

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 全国調査『手話通訳事業に係る入札状況調査、指定管理者制度実態調査  
ならびに手話通訳派遣事業所評価基準について』があり、業務システム  
及び手話通訳者派遣事業の改善に繋げるために協力した。他県や情提施  
設の問い合わせやアンケート協力についても対応した。
- (2) 『札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱』は、2019年4月1日付で一部改  
正となり、登録手話通訳者の報償費が29年ぶりに改定された。以前よ  
り登録手話通訳者から意見もあり実現した。また、派遣対象内容につい  
ても、除外されていた「宗教団体および政治団体等が主催するもの」は、  
派遣上の判断について協議となったこともあり一部改正された。
- (3) 2018年度の災害に続いて、2020年2月以降、知事の“緊急事態宣言”  
も周知される中、派遣申請の日程変更や取消が83件となり対応に追わ  
れた。病院の外来は可能でも病棟への通訳保障は病院により判断が異な  
るが派遣不可となり、全く様子がわからない状態もあった。派遣時は登  
録手話通訳者の保障面を考慮して、専従手話通訳者の優先対応としたり、  
マスク着用等、感染予防に注意するようにしている。
- (4) 広域派遣は、条例施行後、道外での通訳派遣についての処理も円滑にな

り、通訳費用も市担当へ報告して対応している。但し、報告書の取り扱いについては要検討である。道内については、北海道聴覚障がい者情報センターの開所と各自治体との連携を経て対応しているが、自治体の多くは、通訳保障は住民（ろう者）のみ対象であり、双方向に必要な制度であることの認識が薄い。

- (5) 司法分野では、2018年度より優生保護法被害者弁護団より裁判所に働きかけた結果、裁判の傍聴には各障害者の情報保障を実施、ろう者に対しては要約筆記者・手話通訳者配置をしている。継続して傍聴や報告会の対応と期日の周知等もしている。労働・雇用分野では、パワハラ解雇問題の和解契約や職場での意思疎通上のトラブルについては、専門機関と連携し派遣通訳者も継続して派遣している。地域・住宅分野では、ろう者の入居拒否もあり、障害者差別解消法後も合理的配慮の課題がある。
- (6) コーディネート業務は、申請内容と対象者を把握し関係機関との連携が重要である。単なる連絡調整に留まらず、地域ケア担当者会議等に出席したり対応している。専通として社会福祉援助技術の視点を習得し、質の向上を目指し課内にて研修会を設けている。休日・時間外の緊急対応の体制についても課題がある。

## 2. 手話通訳者認定・登録・更新の実施

### (1) 二次試験(面接試験)

札幌市登録手話通訳者を認定するための面接試験を実施

期 日：2019年3月23日(土)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2018年度一次試験（手話通訳者全国統一試験）合格者及び手話通訳者全国統一試験又は手話通訳士試験の合格者

<登録申込状況>

(単位：名)

区 分	2018年度合格者	市外より転入	在札有資格者
統一試験	1	0	0
手話通訳士	0	1	0
合 計	1	1	0

※2018年度統一試験合格の1名は、合格後道外へ転居し、市登通とはならず。

### (2) 一次試験（手話通訳者全国統一試験）の実施

手話通訳者として必要な知識及び技能を審査するため、筆記及び実技試験の問題・採点基準及び具体的実施方法などについて、全国手話研修センターから提供を受け、全国統一試験を実施した。

期 日：2019年12月7日(土)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2016年度以前の手話通訳者養成課程修了者、2017年度手話通訳者養成講座受講生、2018年度手話通訳者養成講座受講生（再受講生）または、手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者

※合格発表：2020年3月2日(月)

<受験者及び合格者状況>

(単位：名)

区分	2018年度				2019年度			
	申込数	受験者数	合格者	合格率	申込数	受験者数	合格者数	合格率
2018年度 養成講座受講者	1	1	0	0%	12	12	2	16.7%
2017年度 養成講座修了者	12	12	1	8.3%	4	4	1	25%
2016年度以前 養成講座修了者	11	11	0	0%	9	9	2	22.2%
その他	0	0	0	0%	1	1	0	0%
合計	24	24	1	4.1%	26	26	5	19.2%

(3) 登録手話通訳者状況

(2020年3月31日現在)

(単位：名)

項目	年度		
	2017	2018	2019
登録手話通訳者数	53	57	55
常勤・非常勤の仕事あり	37	39	36
通訳者自身の病気療養（育児・家族の介護）あり	13	28	29
平日の日中活動可能	13	10	17

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 登通55名中、29名(53%)が稼働不可(3月末現在)であり、2018年度より増加した。その内、年間稼働休止状態が48%、この他にも、通訳者の体調や仕事・家族介護等の理由で稼働が難しい方もいる。新登通1名は、有資格者・通訳経験あり、即戦力として稼働した。
- (2) ほほえみの郷(入居者)の通訳申請(ノート活用等)にかかる相談・連携に注意し、派遣通訳者を決定している。交通や通訳開始時刻によっては、通訳者確保が困難であり苦慮している。新型コロナウイルス感染症の予防や対応については、迅速な対応があり、改めて高齢ろうあ者が安心して居住できる場所があると痛感した。他も、高齢ろうあ者への派遣は留意する。
- (3) 登録手話通訳者が通訳現場に向かう途中で、事故が発生し、後日、被害者に謝罪含めて対応した。

3. 札幌市・札幌協手話通訳者現任研修会の開催

2015年度より、札幌市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換などを行なうため研修会を開催した。

期 間：2019年4月～2020年3月(月1～2回・全16回)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：札幌市専従手話通訳者・札幌市登録手話通訳者・札幌協登録手話通訳者。

講 師：基本的には専通が担当するが、事例研修(6月)・ロールプレイ(7月)は、札幌市ろうあ者相談員、札幌協理事に講師依頼をし実施した。



(内、◆合同(市・札幌協)の研修、◇札幌協のみの研修)

研 修 内 容	月 日	出席者数
1) 札幌市・札幌協手話通訳者派遣事業に関する説明会◆	2019年 4月5日	51名
2) 手話通訳に必要な現場対応力を考える ◆	5月10日	27名
3) 事例研修①② …通訳者の役割を考える ◆	6月17日・18日	32名
4) ロールプレイ①②…ロールプレイ&模擬通訳学習 ◆	7月29日・30日	30名
5) 模擬通訳 …旧手話通訳者養成講座テキストより ◇	8月30日	8名
6) 登録手話通訳者懇談会 …札幌市&札幌協同席	8月23日	25名
7) 事例研修③④ …専通・登通の通訳現場から考える ◆	9月30日 10月1日	30名
8) 健康学習会 …特殊健康診断結果を受けての学習 講師：若葉金三氏 (勤医協札幌病院 医師)	10月29日	19名
9) 司法研修「ろう者・手話・刑事裁判を考える」 ～「生涯被告『おっちゃん』の裁判」を原点として～ 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顛修氏 ◇	11月16日	48名
10) 司法研修「ろう者・手話・刑事裁判を考える」◇ 講師：高齢者障害者支援委員会 直山敬弘氏(弁護士) 「司法場面に係る実技研修」黙秘権、証人尋問について 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顛修氏	11月17日	33名
11) ロールプレイ③④ …専通の通訳現場の再現学習 ◆ 養成講座通訳Ⅲテキストより	11月22日 25日	24名
12) 手話通訳技術①② …「読み取り技術」 「模擬通訳」 ◆	2020年 1月24日・27日	29名
13) 出張報告 …専通等報告 ◆ ※札幌協理事、ろう相にも案内	2月17日	24名
14) 講演「手話～よもやま話～第1弾」 講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏 ◇	3月7日	中止
15) 「通訳技術・統一試験に挑戦しよう！」 ◆	3月23日(昼) (夜)	中止

※2019年度 現任研修会 出席率 札幌市 32% 札幌協 26%

2019年度 コミュニケーション支援課 出張一覧

研 修 内 容	人 数	月 日
1) 特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2019年度総会及び第15回施設大会 (長野県)	1名	6月20～21日
2) 2019年度 意思疎通支援担当者研修会 (京都府)	1名	7月24～26日
3) 2019年度手話通訳者全国統一試験説明会 (京都府)	1名	7月21日
4) 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2019 (東京都) 地域での暮らしを支えるということ家族を支えるということ～多様な関わりの中で自分がどう立つか	2名	7月27～28日
5) 第52回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラムinなら～ レポート提出『専従手話通訳者に求められること～手話通訳者現任研修会から考える～』養成事業係 (奈良県)	1名	8月16～18日
6) 第45回全道ろうあ者相談員第42回全道専任手話通訳者研修会 レポート提出 2本		10月16～17日

『コーディネーター研修から学ぶ視点～ソーシャルワークと手話通訳業務を考える』佐藤有 『手話の広がりや聴覚障害者の暮らし～手話通訳者現任研修会に求められること』渋谷 (札幌市) 6名	
7) 2019年度 手話通訳者養成担当講師ブロック研修会【北海道】 (札幌市) 1名	2月8～9日

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 出欠連絡がない登通の固定化、日常の通訳稼働はしているが、現任研修会の出席がないことも課題である。登通活動と研修会是一对であることを再認識してもらうように、派遣事業係と連携し、通訳現場の振り返りを事例等に活かしていけるように努めている。個々が研修の意義に気づき、自主的に行動するように働きかけをしていく必要がある。
- (2) 2019年度は全体の研修会出席者は減少したが、司法研修は23名増えており、特に2日目手話通訳者のみの出席が多かった。行政との懇談会や出張報告については、出席者の減少は残念である。研修会の出欠連絡がない方はほぼ欠席が多く、通訳稼働のある方は研修会後のアンケート提出が多いが、司法研修では少数であった。研修会は能動的に自らの学習に活かし、通訳集団として研鑽していく場としていきたい。
- (3) 2020年2月中旬より深刻化した“新型コロナウイルス感染症”の影響により、3月7日加藤三保子氏の講演と、3月23日『通訳技術・統一試験に挑戦しよう！』最後の研修会についても、登通のご意見もあり夜間だけでなく昼間の開催の準備をしたが中止と判断した。例年は欠席者のみレポート提出をしていたが、今回は全員対象にレポート提出をお願いした。『読む』『書く』『まとめる』力は、通訳者としては必須と考える。

4. 札幌市登録手話通訳者認定証授与式他・新登録手話通訳者研修会の開催

例年、認定証授与式終了後のオリエンテーションでは『札幌市登録手話通訳者派遣事業実施要綱』の確認・派遣事業の流れ・事務処理等の配付資料を基にして説明を行う。その後、新登録手話通訳者対象に、報告書の書き方の研修を行い、例年、実施している模擬通訳や通訳の体験交流については実施してはいない。専門分野で求められる知識や技術の研鑽は必要であるが、今年は手話通訳士取得の経験者でもあり研修会は1回のみであった。

期 間：2019年4月（新登録手話通訳者研修 1回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2019年札幌市登録手話通訳者に認定された者

(1) 新登録手話通訳者状況

区 分	2018年 一次試験合格者	市外より転入	在札有資格者	合計
新登録者数	0名	1名	0名	1名

(2) 研修会等の内容及び日程

研修内容	月日
認定証授与式・事業説明会 札幌市手話通訳者派遣事業及び、関連する事務手続き等の説明。	4月5日

研修会 1) 「報告書の書き方…通訳行為の振り返り等の確認と意見交換	4月22日
研修会 2) 「模擬通訳」	実施なし
研修会 3) 「経験交流」	実施なし

(3) 手話通訳者状況報告 (2020年3月31日現在) (単位：名)

	2017年度	2018年度	2019年度
専従手話通訳者	9	10	9
登録手話通訳者	53	57	55
(内、当該年度養成講座修了者)	(0)	(2)	(0)

5. 札幌市手話通訳者の頸肩腕症候群等を防止する健診の実施

期 間：2019年7月～9月

場 所：勤医協札幌病院

対象者：登録手話通訳者(1回)・専従手話通訳者(年2回・2020年2月結果は含まず)

(1) 受診状況

健診対象者	64名	受診者数	58名	受診しない数	6名
-------	-----	------	-----	--------	----

(2) 診断結果

A (異常なし)	9名	C 1 (要受診)	6名
B 1 (要観察)	27名	C 2 (要受診・業務対策)	0名
B 2 (要注意)	16名		

【手話通訳者養成等運営会議(派遣)】

- (1) 検診の結果は、**A** 8名は、昼間の稼働以外に、手話協力員・講師活動の兼務をしているが現状維持である。**B1**が減少し**B2**と**C1**が増えている。全体的に不健康な状態であり、筋力低下・就労・育児等の原因があり、特に**C1**については、若葉医師の受診を促し改善に向けての対応をする。札幌協職員(登通)の健康状態は悪化している。
- (2) **B2**と**C1**は、稼働がなく現任研修会の出席も0～1回程度である。
- (3) 検診後の健康学習会は、数年間出席者が少なかったが、若干増えたことは、健康に対する意識に繋がり良い傾向にある。但し、今後については担当医の後継者も見据えて要検討である。

6. 医療手話通訳者派遣事業の実施(勤医協札幌病院委託事業)

専任手話通訳者を勤医協札幌病院へ常勤派遣し、内科、整形外科、眼科、耳鼻科等で外来診察及び入院治療等を受けているろうあ患者と、医師及び看護師とのコミュニケーションの円滑化のため手話通訳業務を行なった。

期間：2019年4月～2020年3月(年間)

業務時間：月・火・水・木・金 9時～15時

第1・3土曜日 9時～12時30分

場 所：勤医協札幌病院

手話通訳者：専任手話通訳者4名・代替手話通訳者7名

(1) 実績及び状況報告

①来院者数及び住居区数（月別）

(単位：名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来院実数	117	91	85	81	71	83	115	99	87	79	74	93	1094
白石区	20	18	18	10	12	17	14	16	14	14	9	29	199
厚別区	23	14	14	10	8	13	17	20	9	11	12	15	166
東区	35	34	21	33	25	22	28	23	21	19	28	19	308
豊平区	13	7	11	9	9	8	24	8	11	9	6	7	122
北区	6	5	8	6	7	10	13	8	10	6	5	6	95
西区	4	3	4	1	0	4	2	7	5	3	2	5	40
南区	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	1	6
中央区	5	4	3	7	6	5	8	7	8	10	9	7	85
手稲区	6	4	2	1	2	3	4	3	4	1	1	3	34
清田区	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
札幌市外	5	2	4	4	2	1	5	1	3	6	2	1	36

②患者及び新患者の状況

(単位：名)

患者数	117	91	85	81	71	83	115	99	87	79	74	93	1094
内、新患者数	1	1	1	1	1	5	1	2	3	0	2	0	18

③来院者数状況（年間）

(単位：名)

区分	2018年度			2019年度		
	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)
通訳件数	766	756	10	765	747	18

④年代及び性別の状況

(単位：名)

区分	19才以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80才以上	非該当	合計
男性	0	1	4	69	34	142	166	116		532
女性	0	3	16	27	105	203	189	18		561
非該当									1	1
合計	0	4	20	96	139	345	355	134	1	1094

⑤来院者の受診科他別状況（年間）

(単位：件)

受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	合計
内科	504	眼科	251	手術	1	
整形外科	138	外科	38	検査	66	
耳鼻科	113	神経科	38	その他	186	
産婦人科	25	労衛科	10	(内、電話通訳)	(22)	
小児科	11	健診	108	(内、受付等通訳)	(78)	

⑥入院患者数及び受診科別状況（年間） （単位：件）

区分	入院患者数	通訳件数				合計
		手術	病棟	病棟外診察	その他	
件数	7	4	54	4	0	62

来院患者数・通訳件数共に、2018年度と比べて若干減少した。繁忙日や専任手話通訳者の休暇時には他の専任手話通訳者が公休出勤で対応することが多かったため、代替手話通訳者への依頼は激減した。

（2017年度 90件 → 2018年度 66件 → 2019年度 9件）

7. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者派遣事業の実施（独自事業）

札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱に適用しない行政、企業、司法機関、団体等からの依頼に基づき、手話通訳者を派遣した。

期 間：2019年4月～2020年3月（年間）

場 所：札幌市内及び近郊

受 付：手話通訳者派遣室

（1）派遣事業の実績及び近況報告

年度 区分	2018年度					2019年度						
	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	取り 消し	確保 不可
		計	専通	登通			計	専通	登通			
企 業	71	75	59	16	71:30	95	110	70	40	127:25	1	1
司 法	11	20	17	3	69:30	40	56	53	3	147:30	6	3
内 弁護士	3	3	3	0	5:00	10	9	9	0	18:30	1	3
内 警察署	7	15	12	3	55:30	7	10	10	0	26:40	0	0
内 検察庁	1	2	2	0	9:00	10	13	13	0	29:00	1	0
内 裁判所	0	0	0	0	0:00	13	24	21	3	73:20	4	0
内 刑務所	0	0	0	0	0:00	0	0	0	0	0:00	0	0
各種集会関係	138	292	99	193	811:15	103	197	36	161	533:05	7	1
内 社会生活教室	28	50	7	43	112:15	28	55	7	48	122:15	0	1
大 学	1	1	0	1	1:00	9	16	9	7	25:50	1	0
組 合	16	33	3	30	92:55	15	34	2	32	101:35	0	0
政 党	7	13	5	8	23:20	19	26	18	8	34:10	1	0
放 送 局	26	35	35	0	71:10	15	21	20	1	32:25	1	0
そ の 他	29	38	23	15	89:45	28	29	18	11	68:00	7	0
合 計	299	507	241	266	1,230:25	324	489	226	263	1,070:00	24	5

（2）派遣分野の状況報告

①2018年度と比較して司法機関の申請が多く、企業、その他（大学）の順に申請が多い。司法は56件（内、41件刑事訴訟等）と裁判員裁判（7年振り）の裁判員にろう者が選任され、5日間で延べ17件の対応（手話通訳士）で

あった。他にも裁判員裁判の選任手続きまでろう者がいたが、最終的には選任されず申請（4日間延べ12件）は取消となった。続いて企業の増加は、毎週定期の派遣も含められている。大学は、学生に対して“講話”についての申請であった。

- ②放送局関係は、契約以外の派遣は少ないが対応している。新型コロナウイルス感染症に対する情報発信（字幕及び手話言語）についても配慮してほしいと伝えている。
- ③選挙（知事選・市長選・参議院選）に伴う申請も時期が集中しており、2018年度に比べて2倍の申請であり、過去4年間の中で一番多かった。北海道ろうあ連盟との連携も選挙のみならず、研修会等、通訳現場で協力して対応した。
- ④厚生労働省の障害者雇用水増し問題により、2018年度に続いて国家公務員障害者選考試験が手話通訳士の配慮をされて実施した。人事院北海道事務局より、一次試験のみ申請があり手話通訳士を派遣した。申請時に担当者として通訳保障について改善点を含めて十分に確認できたことは良かった。

(3) 手話通訳者状況報告 (2020年3月31日現在) (単位：名)

	2017年度	2018年度	2019年度
専従手話通訳者	9	10	9
登録手話通訳者	99	108	104
(内、市登録手話通訳者)	(53)	(57)	(54)
(内、当該年度養成講座修了者)	(0)	(2)	(5)

8. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者現任研修会の開催

2015年度より、札幌市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換等を行なうため研修会を開催した。

期 間：2019年4月～2020年3月（年間18回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者

(札幌市派遣事業と合同の現任研修は【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業に記載)

研修内容	月 日	出席者数	
		登通	専通
1) 模擬通訳 ・聞き取り通訳	8月30日	6名	2名
2) 司法研修「ろう者・手話・刑事裁判を考える」 ～「生涯被告『おっちゃん』の裁判」を原点として～ 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顛修氏	11月16日	43名	5名
3) 司法研修 「ろう者・手話・刑事裁判を考える」 講師：高齢者障害者支援委員会 直山敬弘氏(弁護士) 「司法場面に係る実技研修」黙秘権、証人尋問について 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顛修氏	11月17日	28名	5名
4) 講演「手話～よもやま話～第1弾」 講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏	3月7日	中止	

(自主研修のため出欠連絡、交通費の支給はない)

手話通訳者会議（自主）	月 日	出席者数	
		登通	専通
1)通訳場面 医療・教育	6月7日	4名	3名
2)通訳場面 労働・社会生活	10月15日	4名	3名
3)通訳場面 講演会・式典	2月14日	6名	3名

## (1) 手話通訳者会議

2014年度より始めた出欠連絡不要の自主研修は、比較的経験年数の少ない通訳者が少人数ながら集まり、率直で活発な意見交換の場となっている。出席者は通訳現場で困ったこと等の事例を持ちより、意見交換をする中で問題点を整理し、解決方法を確認している。DVDを活用した内容も行っている。

## (2) 司法場面における手話通訳者研修

講師に渡辺顛修氏を迎えての研修会は、2019年度で8回目である。研修内容は年々深まり、特に2日目は例年の約2倍の43名（司法関係4名含む）の出席があった。2019年度は、1日目を一般公開として104名（資料のみ含む）、過去の岡山県の刑事訴訟“おっちゃん（ろう者）”を題材に、当時の放送を観てろう者への通訳保障や正義とは何かを学習した。その後、20世紀の刑事裁判（司法の取りこぼし）と21世紀への司法の期待について、渡辺氏からの配付資料を基に事件史を確認し、黙秘権（黙る権利）について掘り下げた。講演以外に、急遽渋谷専通に対して、裁判員裁判のろう者への通訳保障に関する質問があり、現状の札幌市に於ける通訳保障について報告をした。

2日目の午前には講演『成年後見について ～成年後見制度の説明と実際』を直山弁護士（札幌市高齢者障害者支援委員会）、その後『黙秘権について』渡辺氏より“おっちゃんの裁判”の意見交換、捜査と公判段階の黙秘権の告知について、翻訳技術の研鑽とろう者の理解を確認しながら、通訳者の視点を法律家に伝えることを学習した。午後は『証人尋問について』渡辺氏の指導の基、ゲスト（ろう者2名）に協力を得て模擬通訳を実施、場面を録画・再生し、通訳行為の振り返りを全体でも共有した。最後に、『札幌市に於ける司法分野の派遣事業について』専通渋谷より報告をした。

## (3) 手話言語に係る手話通訳者研修

豊橋技術科学大学教授の加藤三保子氏を依頼して8回目となる2019年度は、『手話は一つ？』シリーズから『手話～よもやま話』と題を変えての第1弾、アジア地域での手話の共通性に注目した「アジアの『国際手話』の可能性」をテーマとした講演をしていただく予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、加藤氏の講演は毎年100人規模となるため、感染拡大防止を考慮し中止の判断とした。加藤氏は、手話通訳者養成講座理論講義も担当しているため、2020年度手話通訳者養成講座と日程調整した結果、2020年度は、例年3月から時期を変更し9月の実施予定である。

## Ⅱ 手話通訳者養成講座の開催

### 1. 2019年度手話通訳者養成事業の開催

手話による日常会話が可能な手話技術を有する市民を対象に、通訳技術の習得及びろう者とのコミュニケーションを図り円滑な社会生活に寄与するため必要な知識の習得を目的に、ろう者に対する理解を深め手話通訳者を目指す者を養成する講座を開催した。

カリキュラム以外に例年、特別講座（2回）、突破！統一試験学習会（3回）の実施等、手話通訳者全国統一試験（一次試験）の突破を目指し、より個別の課題克服に向けた指導内容を、講師会議にて確認しながら進めている。

期 間：2018年度クラス2年目 2019年4月3日～11月14日（36回）

2019年度クラス1年目 2019年5月16日～2020年3月27日（43回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

#### （1）定員・受講者及び修了者の状況 （単位：名）

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2017年度	15	23	15	10	66.7%
2018年度	15	24	15	13	86.7%
2019年度	15	16	14	継続中	継続中

実技 72回（内、通訳Ⅰ課程32回、通訳Ⅱ課程30回、通訳Ⅲ課程10回）

#### （2）2018年度クラス（2018～2019年度・2年目）

##### ①通訳Ⅱ課程

月 日	内 容
4月3日～24日	第10～13講座 聞き取り通訳
5月8日～15日・5月22日～6月12日 6月19日～8月2日	第14～27講座 場面通訳・事例検討
8月9日～8月28日	第28～30講座 ロールプレイ

講師：7名（札幌協講師3名 専通講師4名）

##### ②通訳Ⅲ課程

月 日	内 容
9月11日	第1講座 通訳のやり方・あり方を考えよう
9月18日～27日	第2～4講座 事例検討とロールプレイ
10月2日～11月6日	第5～10講座 手話通訳実習1～6

講師：8名（札幌協講師4名 専通講師4名）

※2017年度より通訳Ⅲテキストを活用し、回数増となっている。

##### ③理論講義 4回

月 日	講義内容	講 師
4月26日	手話通訳の理念と仕事Ⅱ	渋谷 梯子 専従手話通訳者
6月14日	聴覚障害児の言語発達	氏家 正章 氏 (北海道札幌高等聾学校教諭)



8月7日	手話通訳者登録制度の概要	福島 太郎 氏 (札幌聴覚障害者協会理事)
9月4日	手話通訳者の健康管理	若葉 金三 氏 (勤医協札幌病院医師)

※2015年度から理論講義はより受講生に配慮し、札幌市登録手話通訳者・札幌協登録手話通訳者への公開はせず、講義内容を収録したDVDの貸し出しを行っている。

④修了時アンケートの結果

アンケートからは、講座の学習を通して手話表現や読み取りに変化を感じたとの回答が多く、自分の手話表現の欠点を知ることができた、文章通りの手話から意味をあらわす表現を意識できるようになったなど成長できたと受け止められている。しかし自己の課題は分かったものの「できる」までには至っていないとの感想も出されている。ロールプレイや事例検討は通訳経験の無い受講生にとってはつかみにくく、理解するまでに時間がかかる内容である。読み取り通訳や通訳実習の回数増を求める声があった。

(3) 2019年度クラス (2019～2020年度・1年目)

①通訳 I 課程

月 日	内 容
5月16日～6月26日	第1～7講座 基本文法の復習
7月3日	第8講座 手話通訳の現場から学ぼう
7月10日～7月31日	第9～12講座 身近な場面通訳
8月7日～9月4日	第13～16講座 要約
9月18日～10月16日	第17～21講座 読み取り通訳
10月23日～10月30日	第22～23講座 手話を見て要約
11月6日～12月4日	第24～28講座 聞き取り通訳
12月18日～2020年1月22日	第29～32講座 場面通訳

②通訳 II 課程

1月29日～2月5日	第1～2講座 話しを聞いて要約
2月12日～2月26日	第3～5講座 手話を見て要約
3月18日～27日	第6～7講座 読み取り通訳

講師：12名 (札幌協講師7名 札幌通研講師2名 専通講師3名)

③理論講義 4回 (1回は延期)

月 日	講義内容	講 師
6月28日	身体障害者福祉概論	唐嶋田 智氏 (市障がい福祉課在宅福祉係長)
9月11日	手話通訳の心構え	渡辺 聡子 登録手話通訳者
11月1日	ソーシャルワーク概論	田村 里子 氏 (WITH医療福祉実践研究所)
12月11日	手話通訳の理念と仕事 I	山田 幸雄 専従手話通訳者
2020年3月6日 ➡延期	ことばの仕組み	加藤 三保子 氏 (豊橋技術科学大学教授)

④通訳Ⅰ課程アンケート結果

アンケートからは、手話表現のアドバイスを受けたことや通訳する際の頭の働きを意識するようになった、以前より少ない単語で表すことができるようになった、自分の癖を直すよう意識している、日本語の勉強が必要だと思ったとの感想があった。シャドーイング教材をあまり活用していない受講生が多く、講座の中でも内容確認しながら活用を促す必要があった。講座（2時間）で効果を上げる必要があるのはもちろんだが、講座以外にもろう者の手話をたくさん見たり会話する機会を増やす工夫が必要である。

2. 手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施

会場：市視聴覚障がい者情報センター

(1) 2018年度クラス（2018～2019年度・2年目）

①節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅱ課程	4月23日	7月4日	9月13日
通訳Ⅲ課程	8月6日	12月16日	

(2) 2019年度クラス（2019～2020年度・1年目）

①4月4日（木） 事業説明会・選抜試験打ち合わせ会

②4月11日（木） 受講者選考試験・面接試験（一日目・夜間）

4月12日（金） 受講者選考試験・面接試験（二日目・昼間）

③8月27日（火） 講師研修会「指導のポイント①」

④10月10日（木） 講師研修会「指導のポイント②」

⑤節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅰ課程	4月25日 8月20日	10月31日	2020年1月30日
通訳Ⅱ課程	12月12日	—	—

【手話通訳者養成講座講師団】

ろう講師は札幌協、聞こえる講師は札幌研が推薦する者、または専通が講座を担当し、調整して進めた。

尚、全国手話研修センター主催の「2019年度【手話通訳者】養成担当講師ブロック研修会（北海道ブロック）」（2020年2月8日～9日）については、ろう講師・聞こえる講師2名ずつ出張となった。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

毎年1年生には、受講生の技術向上を目指したシャドーイング練習用DVDを貸し出しているが、受講生の十分な活用につながっていない。IT機器の普及から、スマートフォンで自分の通訳を撮影し自宅で振り返るといった新たな取組も検討中である。

また、1年生の座席を半円状とし、受講生同士座ったまま相互に手話表現が見えるよう工夫したところ、発言が増え活発な意見交換が見受けられる。

アンケートからは、シャドーイング用DVDを配付しているが、自宅練習の活用ができていない状況が続いている。教材だけでなく、受講生が講座以外に行事へ参加したり、ろう者と交流することや日聴紙等を購読することの大切さも伝えている。

統一試験学習会は、受験者が苦手とする『要約』と『場面通訳』について集中的に実施した。

### 3. 「2019年度札幌市登録手話通訳者認定試験学習会」の開催(独自事業)

手話通訳者全国統一試験に挑戦する受験者のために読み取り要約に絞って学習会を開催した。

期 間：2019年9月6日（金）・10月4日（金）・11月2日（土）（3回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：受験者及び受験を考えている者

結 果：9月6日 15名 10月4日 24名（内、市外7名）11月2日 13名

※これまでのアンケートから、実施回数の増、開催時期を早めて欲しいと希望があり、2018年度より1回増の3回とした。

3日間の内、2日間は札幌市民限定とした。例年、自分の弱点に気づくことができ、手話表現や要約等のアドバイスが参考になると好評である。

## Ⅲ 手話奉仕員養成講座の開催

聴覚障害者に対する理解を深め、手話の普及並びに手話奉仕員を目指す者を養成した。

### 1. 手話講習会（入門）事業（札幌市委託事業）

#### （1）2019年度札幌市手話講習会の開催

聴覚障害者に対する理解を深めることと、手話で初歩的な日常会話ができることを目的とした講習を札幌市内10区会場で開催した。

期 間：2019年5月13日（月）～10月28日（月）（21回）

会 場：各区民センター（豊平区は月寒公民館・西区は市身障センター）

清田区民センター工事期間中（8/19～）は、北野まちづくりセンターを使用

#### ①定員・受講者及び修了者の状況

（単位：名）

	中央 A	中央 B	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
定 員	30	30	35	40	40	30	30	30	30	35	30	360
申込数	55		35	32	32	32	24	17	25	37	32	321
受講者	27	26	34	32	32	30	21	14	25	35	30	306
修了者	18	15	25	25	26	22	12	9	19	26	22	219
	定員		応募者数			受講者数			修了者数		修了率	
2018年度	355		322			297			243		81.8%	
2019年度	360		321			306			219		71.6%	

②開講式 5月13日（月） 各区民センター他

③実技（18回）（毎週月曜日）

5月13, 20日	第1・2講座 表現基礎演習
5月27日・6月3, 10, 17, 24日・7月1日	第3～8講座 自己紹介
7月8日	第9講座 自己紹介～まとめ～

7月22, 29日, 8月5, 19, 26日・9月2, 9, 30日・10月7日 (※7月22, 29日・8月5日のうち1回は理論 (出前) 講義)	第10～17講座 話してみましよう
10月21日※	第18講座 話してみましよう～まとめ～

④理論講義 (合同・出前) (2回)

㊦5月31日 (月) 白石区民センター 区民ホール

「聴覚障害の基礎知識」 講師 若浜ひろ子氏 (札幌協理事)

㊧7月22日 (月) 中央区・豊平区・手稲区会場

7月29日 (月) 北区・厚別区・南区会場

8月5日 (月) 東区・白石区・清田区・西区会場

「手話の基礎知識」

中央区・北区会場 講師 京野大樹氏 (札幌協理事)

東区会場 講師 福島太郎氏 (札幌協理事)

白石区・厚別区会場 講師 越智誠氏 (札幌協理事)

豊平区会場 講師 宮内博子氏 (札幌協副理事長)

清田区会場 講師 中 和彦氏 (札幌協理事)

南区会場 講師 福岡静枝氏 (札幌協理事)

西区会場 講師 高嶋正博氏 (札幌協常務理事)

手稲区会場 講師 金原浩之氏 (札幌協副理事長)

⑤修了式 10月28日 (月) 白石区民センター 区民ホール

(2) 手話講習会の講師・助手に対する研修及び会議等の実施

①4月8日 (月) 事業説明会 市視聴覚障がい者情報センター

②4月8日 (月) 合同講師補助講師研修会 市視聴覚障がい者情報センター

「手話奉仕員のテキスト概要と指導ポイント」

講師 若浜ひろ子氏 (札幌協理事)

③4月22日 (月) 各区講師補助講師打ち合わせ 各区民センター他

④7月12日 (金) 講師補助講師節会議 市視聴覚障がい者情報センター

⑤11月11日 (月) 各区講師補助講師反省会 各区民センター他

⑥11月25日 (月) 全体講師補助講師反省会 市視聴覚障がい者情報センター

【手話通訳者養成等運営会議 (養成)】

(1) 広報さっぽろに募集が掲載されなくなり、募集周知のためのポスターを作成し、支部にも協力をもらって、多くの場所にポスターを掲示した。途中までは申込少なく大変厳しい状況であったが、最終的には前年度を上回った。

(2) 障害や疾病を抱えている方 (難聴・生まれつき左耳がない・言葉が不自由) からの問い合わせ、応募あり。随時、市・協会と相談し、支部にも協力を得られるか相談しながら進めている。

(3) 今年度は合同講義、修了式を白石区民センターで行った。新しく、広い会場で、使用料も安いとの理由で決めたが、受講会場によっては通いにくく、また使い勝手の問題、書籍販売ができない等の問題点あり、来年度は札幌市社会福祉総合センターを使用する予定である。清田区民センターは工事のため、8月19日以降使用できず、北野まちづくりセンターを使用した。

- (4) 昨年度と同様に、中央区Bの講師は理事が持ち回りで担当、また、手稲区会場も理事が1名講師として、支部の講師不足を補っている。来年度は、講師不足の会場が更に増える見込みである。

## 2. 中級手話講習会（基礎）事業

### (1) 2019年度札幌市中級手話講習会の開催（札幌市委託事業）

手話で日常会話を行なうのに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得し、聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度などについての理解と認識を深め、地域で活動する人材の育成を図るための講習を開催した。

期 間：2019年5月16日（木）～11月14日（木）（26回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

#### ①定員・受講者及び修了者の状況 (単位：名)

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2017年	50	62	50	42	84%
2018年	50	70	50	43	86%
2019年	50	90	50	42	84%

#### ②受講者の住居区分状況 (単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
申込者	17	9	10	7	8	6	8	6	12	7	90
受講者	7	7	8	3	0	2	5	4	11	3	50
修了者	5	7	8	2	0	2	4	2	9	3	42

※厚別区は合格通知送付後、都合により辞退の申し出あり結果的に0名となった。

#### ③開講式 5月16日（木）

#### ④実技（毎週木曜日）

月 日	内 容
5月16日～7月18日・8月1日～9月19日	第19～34講座 基本文法
9月26日～10月3日	第35・36講座 総合練習Ⅰ
10月17日～11月7日	第37～40講座 総合練習Ⅱ・まとめ

講師：8名（札幌協推薦講師5名 札幌研推薦講師2名 専通1名）

#### ⑤理論講座

㊦5月16日（木）「ボランティア活動」 講師：三神久子氏  
(中級手話講習会担当講師)

㊧7月25日（木）「障害者福祉の基礎」 講師：岸龍馬氏  
(札幌市障がい福祉課在宅福祉職員)

㊨10月10日（木）「聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度」  
講師：佐藤尚行氏・中和彦氏  
(中級手話講習会担当講師)

#### ⑥修了式・講評・反省会 11月14日（木）※手話通訳者養成講座と合同

### (2) 中級講習会の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

#### ①4月3日（金）事業説明会

#### ②4月8日（月）合同講師助手研修会 「奉仕員養成課程のねらい」

#### ③5月8日（水）講師研修会「指導技術」

#### ④節会議・評価会議・反省会

内 容	日 程			
節会議	4月10日(水)	6月12日(水)	7月17日(水)	9月4日(水)
講師反省会	11月28日(木)			

【中級手話講習会講師団】

25名ずつの2グループ制にして3年目となり、講座の進め方にも慣れ、各グループにろう講師1名・聞こえる講師1名の2名配置で落ち着いている。ろう講師は5名。聞こえる講師には、育成講座修了生より依頼した1名を新しく加えた3名となっている。

北海道ろうあ連盟主催の「手話奉仕員養成担当講師ブロック研修会【北海道ブロック】」（8月3日～4日）には2名の希望者があり出張となった。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 新テキスト5年目、会場を2つに分けての指導は3年目となった。2グループ制開始当初は、講師2名ずつでは足りず、講師団からは3名配置の希望があり、養成等運営会議にて検討したが理由が明確でなく予算増ともならなかった。節会議で進行方法等の工夫することを話し合い、講師も徐々に指導に慣れ、3名配置は不要と確認した。
- (2) 第39講座については、2019年度初めてろう者のゲスト（謝礼金有）の協力を得て実施した。依頼時期が遅くなって準備不足もあり、反省点が残ったが、ろう者との交流が少ない受講生にとっては好評であった。2020年度も継続していき、ろう者ゲストについては、手話講師育成講座修了生より選出している。
- (3) 2019年度修了アンケートの回収が例年より少なく、2020年度は注意が必要である。課題としては、講師の手話が読み取れず指示もアドバイスも理解できないという意見があり、受講生には札幌協主催の行事等に参加し、ろう者との交流を促している。

【情報・コミュニケーション部】

(1) 手話講習会について

2018年度より講師・補助講師の体制が変わってから2年目になった。特に問題なく、各区講師同士で協力し合って取り組むことができた。各区講師が集まって情報共有が必要との要望が多かったため、節会議の開催を札幌市に求めて認められ、7月12日に各区2名で開催した。「札幌市」手話講習会という場では、講師もプロの意識が必要であり、ろう講師と聞こえる講師の立場は対等であることを話し合った。全国統一のテキストを使用するので、講師になるために講師育成講座などで学習し、必要な知識、指導方法などを学ぶための取り組みが必要である。

(2) 中級手話講習会について

2018年度の聞こえる講師一人が辞退したため、新しい講師一人を迎え、他の経験ある講師たちと支え合いながら進めることができた。

(3) 手話通訳者養成講座について

講座の期間が2年間に変わってから5年経ち、講師人数を増やすことにより、担当負担を減らす事ができた。

担当時に都合がつかない時は日程や代理講義の調整がスムーズにできた。  
また、資質の向上のため、講義後、情報メール共有に努めた。

(4) 講座全般について

手話講習会の受講生の年齢層は幅広く、個人の力量の差が指導する上での課題となっている。中級手話講習会、手話通訳者養成講座に繋げるよう、工夫して指導していく。

ろう・聞こえる講師の高齢化がますます進む中、早期の後継者育成が必要であり、そのための取り組みを行う。

講師の資質向上のため、講師育成講座の受講を広く勧め、内容の充実、改善を図り、経験豊かな人材の確保に取り組んでいく。

(5) 専門部会議について

2018年度より、各区情報コミュニケーション部会議の内容は手話講習会の範囲に限定せず、手話サークル関連や聴覚障害の生活や手話言語条例など、幅広く、意見交換し、率直に話し合えるようになった。

今年度は特に、各サークルの札幌手話サークル連絡協議会からの退会を防ぐため、各区支部より行った手話サークルへのアドバイスとその結果について報告し合ったが、脱会希望の理由は様々であり、解決が難しい状況である。今後、各支部と手話サークルとの連携を強化し、情報を共有しながら個々の課題把握に努めることが必要である。

IV 札幌市手話通訳者養成等運営会議（派遣・養成）

構 成：札幌市障がい福祉課・札幌聴覚障害者協会・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会

期 間：2019年4月～2020年3月（8月除く月1回開催）時間 19：00～20：45

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	区分	主な内容	人数
1	4月18日	派遣	派遣状況、広域派遣 登通状況について	10名
2	5月16日	養成	各講座の申込・選考状況、講師割り振りについて、現任研の報告	13名
3	6月20日	派遣	派遣状況 広域派遣 苦情対応について	8名
4	7月18日	養成	各講座の進捗状況、手話講師育成講座、手話通訳者現任研修会について	13名
5	9月19日	派遣	派遣状況、広域派遣、制度外派遣について	11名
6	10月17日	養成	各講座の進捗状況、育成講座、手話通訳者現任研修会、全国統一試験及び学習会について	13名
7	11月21日	派遣	派遣状況、広域派遣、登通状況について	11名
8	12月19日	養成	各講座の修了・進捗状況、現任研修会、2020年度各講座について	13名
9	2020年 1月16日	養成	2020年度各講座に向けて、養成・育成講座の進捗状況、統一試験、現任研修会について	13名
10	2月20日	派遣	派遣状況、広域派遣、関係機関との連携について	11名
11	3月19日	養成	2020年度各講座の申込状況、育成講座の修了、現任研修会の状況、コロナ対策の現状について	11名

【緊急検討 新型コロナウイルス対策について 3月】

- (1) 養成事業では、各講座・研修会（外部講師）中止、休講・日程や会場の変更等、事務処理が増えた。受講生にはマスク着用・部屋の換気に留意したが、消毒液の用意ができない。講座は、少数であり間隔をあけて着席してもらおう。
- (2) 派遣事業では、登録手話通訳者よりも専従手話通訳者の派遣を優先するが、医療場面の申請が多く、登録手話通訳者の協力が必須であり、通訳経験のある方を派遣とする。新型コロナウイルス感染症への不安や学校の休校に伴い、登録活動の休止の申し出が複数あり、無理しないように配慮している。通訳申請の取消・日程変更が多く、事務処理が大変である。病院病棟の対応が違い、患者の診察や面談等の通訳保障ができない。
- (3) 派遣室での来所対応は、電話通訳等の対面時には離れて対応し、除菌・換気に気をつける。マスク着用の理解を求める貼り紙をしている。
- (4) 緊急対応も含めて、札幌市には16ヶ所にタブレット端末の設置がされており、緊急時はろう者が有効活用できるように、また、既存の活用ができない時には、災害用タブレット端末の準備が必要等、意見を伝えている。

【養成事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 唐嶋田智係長 岸龍馬職員  
札幌協：高嶋正博常務理事兼事務局長（5月のみ） 宮内博子副理事長  
若浜ひろ子理事 福岡静枝理事（7月から） 京野大樹事務局次長  
渋谷梯子課長 佐藤有香係長  
札サ連：堀井淑副会長 那須美枝子広報部長  
札通研：中村雅子事務局長 樋口道雄広報部長

【派遣事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 唐嶋田智係長 岸龍馬職員  
札幌協：渋谷雄幸理事長 高嶋正博常務理事兼事務局長 若浜ひろ子理事  
京野大樹事務局次長 渋谷梯子課長 金原さとみ係長 森川僚主  
査  
札通研：中村雅子事務局長 樋口道雄広報部長

## V 手話教室の開催

手話を社会一般に広めるとともに、それを使用する聴覚障害者についての知識や理解も深めてもらうために次の事業を行なった。

### 1. 手話教室事業の開催（独自事業）

#### (1) はじめての手話教室（入門課程）（昼間）

手話の学習経験がない者を対象に、聴覚障害者の生活・文化等を理解するとともに手話で簡単な日常会話ができるようになることを目的として日中に手話教室を開催した。

期間：①第37回はじめての手話教室

2019年4月12日（金）～9月13日（金）（20回）

受講人数：受講生15名（修了生13名）

ろう講師2名 聞こえる講師1名 補助講師1名



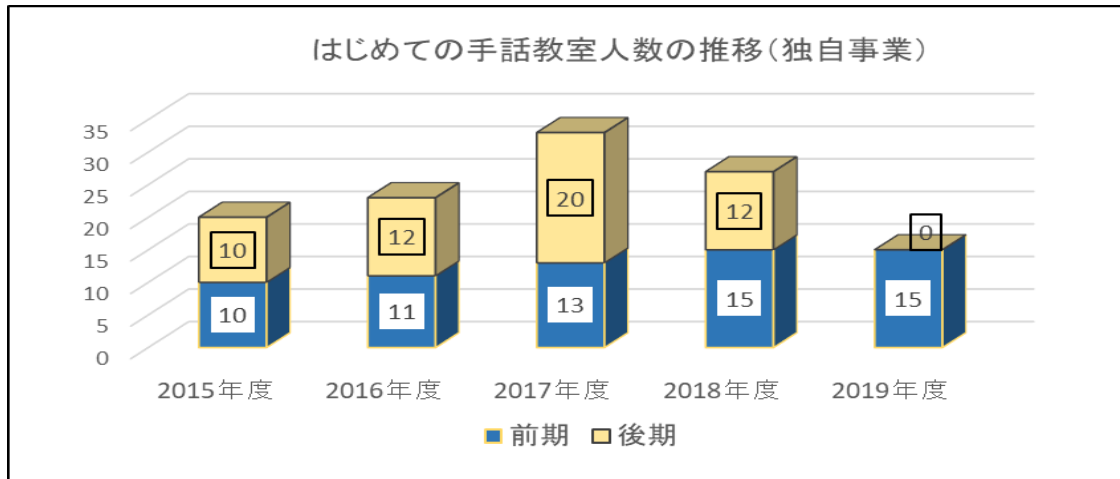
②第38回はじめての手話教室

2019年9月20日（金）～2020年2月14日（金）

申込者が最少催行人数に満たなかったため、やむなく中止した。

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話講習会の経験ない者、初心者



(2) フォローアップ手話教室（昼間）

手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」を再度学びなおし、聴覚障害者に対する理解と手話での簡単な会話ができる事を目的として、以下の手話教室を開催した。

期間：①第14回フォローアップ手話教室

2019年9月26日（木）～10月31日（木）（5回）

受講生9名（修了生5名） 講師1名 助手1名

②第15回フォローアップ手話教室

第38回はじめての手話教室中止に伴い、取りやめた。

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」の修了者

(3) 第13回中級手話教室（基礎課程）（昼間）

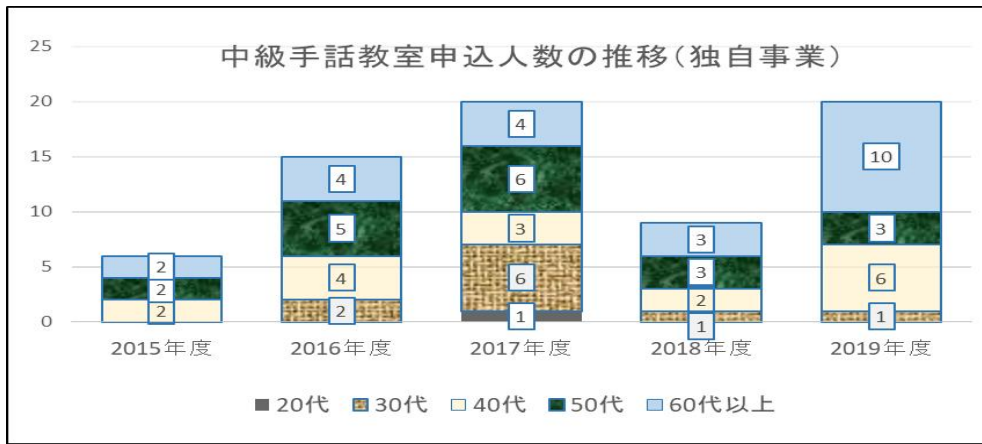
入門課程で習得した会話技術に加え、基本文法も学ぶことで特定の聴覚障害者となれば日常会話ができるようになるとともに、福祉制度の基礎知識や聴覚障害者の歴史についても理解できることを目的に日中の時間帯で中級手話教室を開催した。

期間：2019年5月15日（水）～12月11日（水）（30回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生20名（修了生19名）ろう講師2名 聞こえる講師2名

対象：入門課程の修了者または同程度の力量がある者、手話で簡単な会話ができる者



(4) 第12回レベルアップ手話講座(昼間)

中級手話教室(基礎課程)修了者を受講対象とし、中級手話講座と手話通訳者養成講座の間に位置する講座として、手話の特徴(8つのポイント)を中心に学び、個々の力のレベルアップを目指す講座を開催した。

期間:2020年1月15日(水)~2月12日(水)(全5回)

会場:市視聴覚障がい者情報センター

受講人数:受講生9名(修了生8名) ろう講師:2名

対象:手話奉仕員養成カリキュラム「基礎課程」の修了者

(5) 2019年度はじめての手話教室(医療編~薬局で働く人対象~)(夜間)

薬局窓口などで使える簡単なあいさつや会話の手話表現と、聴覚障害者への対応方法などを学習するための手話教室を開催した。

期間:2019年7月26日(金)~8月9日(金)(3回)

会場:市視聴覚障がい者情報センター

受講人数:受講生11名 講師1名 助手1名

対象:調剤薬局関係者

(6) 2019年度はじめての手話教室(医療編~病院で働く人対象~)(夜間)

病院の医師・看護師及びスタッフが、医療現場で使える簡単な会話や医療用語の手話表現と、聴覚障害者に対応する時の心構えや方法を学ぶことを目的とした手話教室を開催した。

期間:2019年11月1日(金)~15日(金)(3回)

受講人数:受講生18名 講師1名 助手1名

会場:市視聴覚障がい者情報センター

対象:医療関係者

(7) 2019年度60歳から始める手話講座(昼間)

2019年7月30日(火)に開催予定だったが、最少催行人数に満たなかったため、やむなく中止した。

対象:60歳以上の者

(8) 2019年度はじめての手話教室(福祉編)(集中講座)

2019年11月16日(土)に開催予定だったが、最少催行人数に満たなかったため、やむなく中止した。

対象：介護職員ほか

(9) フォローアップ手話教室（夜間）

手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」を再度学びなおし、聴覚障害者に対する理解と手話での簡単な会話ができる事を目的として開催した。

期間：2020年1月20日（月）～2月17日（月）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生20名 ろう講師2名 聞こえる講師2名

対象：手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」の修了者

2. 札幌市ミニ手話講座（札幌市委託事業）

札幌市から委託を受け手話を学習した事のない一般市民を対象に講座を開催した。

期間：2019年6月～2020年3月（10回）

対象：札幌市民

回数	年月日	会場名	対象	参加人数
第1回	2019年 6月25日	市民交流プラザ	市民	23名（5名）
第2回	7月6日	白石区民センター	市民	11名（3名）
第3回	8月6日	教育文化会館	小学4～6年の 子供・保護者	10組（1組）
第4回	9月17日	札幌市視聴覚障がい者情報センター	市民	15名（8名）
第5回	10月9日	手稲区民センター	市民	7名（3名）
第6回	11月18日	札幌市社会福祉総合センター	市民	26名（9名）
第7回	12月4日	厚別区民センター	市民	16名（6名）
第8回	2020年 1月6日	カナモトホール（市民ホール）	小学4～6年の 子供・保護者	3組（1組）
第9回	2月21日	札幌市視聴覚障がい者情報センター	市民	21名（6名）
第10回	3月14日	さっぽろテレビ塔（夜間）	市民	新型コロナウイルスの影響 で中止

\*（）当日欠席者数

【手話普及事業担当】

- ・後期の「はじめての手話教室」が最少催行人数に満たず、初めて中止となった。今後、呼びかけ方法などに工夫が必要。
- ・札幌市手話講習会の修了生を対象に、新規で夜間のフォローアップ手話教室を開催、定員を超える申し込みがあった。講習会修了から月日が経っている事を加味し、受講生の様子を見ながら毎回カリキュラムを立てて対応した。
- ・各講座15名以上の申し込みを目指して、呼びかけ方法など工夫をしていく。
- ・札幌市ミニ手話講座は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、第9回は入り口での手指消毒と間隔をあけた座席対応で開催。第10回については

開催自体を断念した。

参加者の年齢層は幅広く、積極的に学んでいる姿が見受けられたが、昨年度同様、連絡なく当日欠席する人も多く、対策について検討の必要がある。また、申し込み人数の伸びない中央区周辺以外の区については、会場や日程調整に考慮が必要である。

## VI 手話講師の派遣

聴覚障害者に対する理解とコミュニケーション方法や言語としての手話を教え、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深めるために聴覚障害者の講師を派遣した。

### 1. 聴覚障がい・手話啓発事業

期間：2019年4月～2020年3月（年間）

場所：市内各所（学校、企業等）

受付：法人事務局

#### （1）ボランティア活動センターからの依頼 33件（中止1件）

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
6月4日	栄東小学校	小学5年（3クラス）	90名
6月10日	屯田南小学校	小学5年（2クラス）	57名
6月21日	平岸小学校	小学5年（3クラス）	105名
6月25日	ひばりが丘小学校	小学4年（2クラス）	51名
6月28日	福住小学校	小学4年（4クラス）	124名
7月5日	北都小学校	小学4年（2クラス）	60名
7月9日	円山小学校	小学6年（4クラス）	159名
7月17日	元町小学校	小学4年（3クラス）	105名
8月23日	篠路小学校	小学4年（3クラス）	90名
8月26日	大谷地東小学校	小学4年（2クラス）	81名
8月28日	本郷小学校	小学4年（2クラス）	49名
9月3日	月寒東小学校	小学4年（3クラス）	92名
9月5日	札幌苗小学校	小学4年（2クラス）	71名
9月9日	金山会館	シニアサロン参加者	20名
9月18日	北都中学校	中学1年（選択制）	168名
9月24日	西岡北小学校	小学4年（2クラス）	50名
10月8日	みどり小学校	小学4年（2クラス）	57名
10月11日	厚別北中学校	中学1年（選択制）	189名
11月13日	北栄中学校	中学3年（選択制）	30名
11月14日 15日	屯田北中学校	中学3年（7クラス）	271名
11月15日	札幌みなみの杜高校支援学校	高校1年（2クラス）	63名
11月18日	北星学園大学付属高校	高校3年福祉コース	28名
11月26日	手稲東小学校	小学4年（3クラス）	107名
11月28日	新川中央小学校	小学3年（2クラス）	79名

11月29日	清田小学校	小学4年 (2クラス)	54名
12月3日	月寒小学校	小学5年 (3クラス)	112名
12月18日	簾舞中学校	中学3年 (2クラス)	43名
2020年1月22日 23日	川北小学校	小学4年 (4クラス)	120名
1月24日	西野第二小学校	小学5年 (選択制)	30名
2月14日	西区西野中央町内会	町内会役員等	25名
2月26日	白石区社会福祉協議会	白石区内社会人向け	11名
2月28日	駒岡小学校	インフルエンザのため中止	

(2) ボランティア活動センター主催手話講座の講師派遣依頼 5件

年月日	講座名	対象	人数
2019年4月11日	手話体験講座①	市民	25名
5月20日～7月1日	ボランティアのため入門講座7回	市民	20名
6月11日	障がい者講師養成講座	身体障害者	21名
12月12日	手話体験講座②	市民	7名
2020年1月30日～2月27日	ボランティアのため入門講座5回	市民	20名

(3) 直接依頼 (企業・団体・他) 8件 (中止1件)

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
7月19日	札幌矯正研修所札幌支所	刑務官	24名
7月23日	札幌医科大学 (2コマ)	医学部1年	110名
8月9日	老人クラブ連合会	札幌シニア大学	65名
8月20日	視聴覚障がい者情報センター	各区保健福祉部職員	25名
9月18日	里塚美しが丘地区センター	小学4年 とシニア	80名
9月25日			80名
11月2日	自治労北海道本部障害 労働者連絡会総会学習会	障害当事者	30名
2020年1月10日	札幌市教育センター(ちえりあ)	教職員	22名
3月19日	札幌矯正研修所札幌支所	コロナウイルスの影響で中止	

2. 手話養成普及事業

(1) 講師派遣事業

期間：2019年4月～2020年3月 (年間)

場所：市内各所

受付：法人事務局

学校名・企業名等	期間・回数	学科名等対象	人数
耳鼻咽喉科麻生病院	通年第4木曜日	院内従事者	10名前後
札幌聖心女子学院	通年木曜日14回	中学2年(2クラス)	21名
	通年木曜日13回	中学3年(2クラス)	29名
	通年木曜日24回	高校1年	20名

一番街商店街振興組合 レディス会手話サークル	前期10回	一番街商店街 従事者対象	20名
池見札幌歯科衛生士専門学校	45分×15コマ	歯科衛生士科3年	5名
経専学園北海道観光専門学校	前期12回	エアライン科2年	22名
	後期11回	エアライン科1年	14名
	前期15回	旅行科2年	5名
	後期11回	旅行科1年	9名
	前・後期10回	ホテル科2年	32名
	前・後期10回	ウェディング科2年	
経専学園医療事務薬業専門学校	前期14回	医療事務学科2年	58名
	後期12回	医療事務学科2年	20名
	前期14回	薬業学科2年	8名
	後期6回	薬業学科2年	4名
光塩学園女子短期大学	前期(16回)	保育科2年(2グループ)	82名
エス・ワン動物専門学校	前期(10回)	全科2年	27名
札幌心療福祉専門学校	後期(15回)	精神保健福祉科3年	14名
札幌医科大学	前半・後半16回	看護学科・作業療法学科・ 理学療法学科 1年	80名
経専学園北海道保育専門学校	後期前半×8回	こども未来学科3年	18名
	後期後半×8回	こども学科2年	25名
さっぽろ市民カレッジ (ちえりあ)	前期(14回)	高校生・一般	22名
	後期(14回)	高校生・一般	23名

### 3. 講師・助手研修会開催

「講師・助手事業説明会」を開催した。

日時：2019年4月19日（金）18：30～20：30

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：講師・助手 16名（ろう者7名・聞こえる者9名）

#### 【手話普及事業担当】

- ・単発講座の派遣数は2018年度とほぼ同数だが、他の業務の都合などにより職員だけで調整がつかない場合、講師・助手とも登録者へ依頼した。
- ・登録講師・助手の派遣には、新規の方にも各1名稼働してもらった。今後なお一層経験を積んでもらいたい。
- ・講師・助手の人材確保と共に、研修会等による研鑽の場も必要と考える。
- ・少子化や経営難による専門学校の閉校やカリキュラム変更など、契約終了となる学校も出てきている。

## VII 第14回全国手話検定試験の実施

\*試験会場として実施協力（主催：社会福祉法人全国手話研修センター）

(1) 「受験者のための学習セミナー」講師養成講座

目的：検定試験のための事前学習の場としての「学習セミナー」を効果的に地域で開催するために同学習セミナーの講師養成を目的に開催  
 日時：2019年6月22日(土)13:00～17:00・23日(日)9:30～15:35  
 会場：市視聴覚障がい者情報センター  
 講師：高嶋 正博 氏  
 受講者：7名

(2) 面接委員研修

目的：検定試験における面接部分を担当し、受験者のコミュニケーション能力の評価をする面接委員構成の為および、3年間派遣がない委員が役割等を再確認し、資質・技術向上を図るために開催  
 日時：2019年7月27日(日)10:30～15:30  
 会場：市視聴覚障がい者情報センター  
 講師：高嶋 正博 氏  
 受講人数

共通講義	4級	2級	合計
4名	11名	4名	19名

(3) 受験者のための学習セミナー開催

目的：試験に先立ち、受験者に事前学習の場を提供するとともに本試験の意義を理解し、手話の学習意欲の増進を図るために開催  
 また、面接委員有資格者の演習の場としての意味も持つ  
 日時：2019年9月14日(土)9:30～16:30  
 会場：市視聴覚障がい者情報センター  
 講師：ろう者2名・きこえる者4名  
 模擬面接委員：ろう者6名・きこえる者16名  
 受講人数

	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	合計
受講者	31名	23名	15名	11名	3名	2名	85名

(4) 第14回全国手話検定試験(団体試験)面接委員派遣協力

企業・学校・団体等が開催する団体試験に対して面接委員・要員の派遣  
 日時：2019年9月26日(木)14:40～17:10  
 会場：光塩学園女子短期大学  
 派遣：面接委員(ろう者1名、きこえる者1名)、要員2名  
 受験者：5級 20名  
 合格者：5級 20名

(5) 第14回全国手話検定試験の実施

日時：2019年10月12日(土)5級・4級  
 10月13日(日)3級・2級  
 10月19日(土)準1級・1級  
 会場：市視聴覚障がい者情報センター

	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	合計
申込者	96名	87名	87名	45名	17名	10名	342名
受験者	84名	86名	84名	41名	15名	10名	320名
合格者	82名	85名	80名	30名	12名	8名	297名
面接委員	7名	7名	14名	10名	4名	4名	46名

面接委員：ろう者20名、きこえる者26名  
 要員：ろう者28名、きこえる者43名

【手話検定試験担当】

学習セミナーの講師の増員を図り養成講座を開催するも、他の行事と重なったり周知が甘く、受講者は市内からの7名にとどまった。この7名のうち3名には実際のセミナーで講師を、残り3名には講師通訳や模擬面接委員を担当してもらい、従来の講師らの協力のもと演習を行った（1名は産休）。来年度は役割を交代して、互いに研鑽してもらいたい。

昨年度2年越しの計画で着手した「面接委員研修」の4級と2級を開催。十勝管内の方を中心に11名が4級を受講。今後の新得や帯広での派遣が期待できる。また、受験者の増加が見込まれる2級には市内近郊から4名が受講した学習セミナーには昨年度とほぼ同程度の参加者があり、協力し合いながら、読み取り試験対策や模擬面接ができた。当日試験の依頼予定者を優先して模擬面接委員の依頼をかけ、演習してもらった。

当日試験は情報センター1館で行った。例年通りひとつの貸室に複数の面接試験ブースを作ったが、受験者の声が大きすぎるなどの事例があり、今後対応を考えたい。光塩短大の団体試験は今年で連続5回目となり、後日全員が合格したとの連絡があった。

VIII 手話通訳者育成指導者養成の開催

1. 手話講師育成講座事業（札幌市委託事業）

(1) 2019年度手話講師育成講座事業の開催（2014年度開始）

手話奉仕員と手話通訳者養成事業を担う講師（人材）の確保を確実に進めるため、講習技術の向上を図り適切な講習が可能な講師を増やすことを目的としている。

全課程を学ぶことを基本とした他、手話講習会の講師研修会2回分を取り込み、手話奉仕員課程の回数を増やし、手話奉仕員課程のみの受講を認めて基礎課程まで学んでもらうこととした。

①手話奉仕員養成課程

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
入門課程	5回	11月9日～11月10日	29名	6名	20.7%
基礎課程	6回	12月8日～1月12日			

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、渋谷悌子、菅原美樹、山田幸雄

②全課程

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
通訳 I 課程	6回	2月16日～3月8日	21名	3名	14.3%



通訳Ⅱ課程	4回	3月14日～3月15日			
-------	----	-------------	--	--	--

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、渋谷梯子、山田幸雄

③理論講義手話通訳者養成課程

	講師	実施日	受講者数
ことばの仕組み(手話)	筑波技術大学 大杉豊氏	2月8日	31名
手話通訳の理念と仕事 I・II	全国手話研修センター 石川芳郎氏	3月15日	中止

【手話講師育成講座講師団】

2018年度同様、ろう講師は札幌協会の会員で講座の指導経験が豊富な者、聞こえる講師は専通が担当し、調整して進めた。

講座開始前に会議を行い、昨年度の反省点からカリキュラムの見直しを図り、テキストの第1講座から順番に、数年かけてすべての講座内容を学べることにした。講師経験の無い受講生にもモデル講習・模擬講習を見てまねることができるなど受講生に分かりやすい進め方を工夫した。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

受講者が通いやすい土日集中型として4年目であるが、他行事との重なりが避けられず、欠席者が多かった。2019年度も手話講習会の講師研修2回分を育成講座として移行したため、更に日程確保に苦慮した。カリキュラムは進め方と時間配分を2018年度から変更し、講師によるモデル講義と模擬講習、その後の振り返りの時間を設けてじっくり学べるように工夫した。模擬講習は講師経験のある受講生に講師役をお願いし、応用練習では指導経験の無い人にも体験してもらうこととした。

アンケートでは、2018年度の反省からカリキュラムが工夫され余裕をもって受講できるようになった。手話奉仕員課程の第1・2講座の重要性や第3講座以降とのつながりがわかり、基礎課程の学習を手話講習会の指導に生かしたことで、奉仕員課程を増やしてほしい等の感想があった。

講師の人材確保のため、全課程を担える人材育成を目指しており、できるだけ全課程の受講を促していきたい。

2回ある理論講義では、例年外部講師を招き、受講生に大変好評であるが、今年度は新型コロナウイルス関連の影響により、理論講義②「手話通訳の理念と仕事」は中止とした。貴重な機会であるだけに非常に残念である。

IX. やさしさっぼろ手話（社会福祉協議会共同開催）

2016年6月に社会福祉協議会より、「札幌市障がい者コミュニケーション条例」及び「手話言語条例」の制定に向けた取り組みで手話を広めるPRの必要性を考え、共同開催の提案を機に開催となった。当初単年度での終了と思われたが、社協の希望もあり4年目となった現在まで継続中。2020年度の開催も予定されており、これまでの実施状況について報告する。

日 時：第2・4火曜日（祝日除く）11：30～12：00

会 場：社会福祉総合センター 1階アトリウム

（2018年度は建物改修工事のため、情報センター大会議室で実施）

対象者：主に初心者対象としているが条件等はなく、参加自由・申込不要。

実施年度	実施回数	延べ参加人数	販売書籍
2016（平成28）年	18回	410名	21冊
2017（平成29）年	24回	1,096名	33冊
2018（平成30）年	23回	1,021名	※
2019（令和元）年	19回	611名	2冊

(1) 内容・テキスト

基本的な手話単語は6回を1クールとしており、そこに会話や手話歌、季節に合わせた単語を盛り込んだ内容となっている。参加者の半数以上は継続して出席しており、手話検定や札幌協独自事業の手話教室、札幌市手話講習会・中級手話講習会の申込みにつながっている。

テキストには『さっぽろの手話』の一部を使用し、パワーポイントで投影している。2019年度からは、手話単語だけではなく、手話検定5級レベルの会話を入れる工夫をしている。

(2) 開催日程について

2016年度は7月からの実施。祝日は休みのため、年度により回数に変動あり。2018年度は、情報センターでの実施のため、書籍購入希望者は、直接法人事務局を訪れての購入をお願いしており、詳細は把握できていない。2019年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2月25日、3月10日、3月24日の3回分が中止となった。

## 【公2】生活支援事業

### I 聴覚障害者支援センターほほえみ

#### 1. 地域活動支援センター事業（札幌市補助事業）（定員：12名×2ヶ所）

聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進め、重複及び高齢の聴覚障害者に対する障害者福祉サービスを提供した。

##### (1) 地域活動支援センターほほえみ西

①外出機会が少ない高齢ろうあ者、盲ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援

②手話通訳を介しても理解が難しい利用者や家族、医療機関などへの支援

③同じマンション内にある歯科への受診

（義歯の破損や急な痛みがあった際の診察同行、重い障害がある利用者の待ち時間負担の軽減）

利用時間：（月～水・金・土 10時～15時）

場所：西区二十四軒4条3丁目4-35 カルチェド札幌108号室

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

##### ⑦通所者数・月別(延べ人数) (単位：名)

	19年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年 1月	2月	3月
男性	107	110	136	126	106	109	114	117	103	80	89	22
女性	93	67	122	122	104	120	114	114	74	80	75	14
合計	200	177	258	248	210	229	228	231	177	160	164	36

①各区分・登録者数(延べ人数)

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外
男性	1	4	6	4	1	0	0	1	7	3	0
女性	1	3	3	2	1	1	0	0	3	4	1
合計	2	7	9	6	2	1	0	1	10	7	1

(2) 地域活動支援センターほほえみ厚別

- ①外出機会が少ない高齢ろうあ者、盲ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援
- ②利用者の高齢化による介護事業所への転移、入院や体力低下などの理由により、利用者数が減少し運営が厳しくなった。2020年度以降、休止とする。
- ③休止にあたり利用者と面談を行い、休止後の処遇について話し合いを行った。登録者の約半数がほほえみ西へ通う。

利用時間：(月～水・金・土 10時～15時)

場所：白石区栄通18丁目10-16 ハマナスビル103号

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

①通所者数・月別(延べ人数)

(単位：名)

	19年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年 1月	2月	3月
男性	47	45	60	45	57	49	37	28	24	39	17	11
女性	54	52	44	43	42	49	46	33	44	50	50	11
合計	101	97	104	88	99	98	83	61	68	89	73	22

②各区分・登録者数(延べ人数)

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外
男性	1	1	8	6	4	1	0	1	3	0	1
女性	1	2	4	3	9	0	1	0	1	0	2
合計	2	3	12	9	13	1	1	1	4	0	3

(3) ほほえみ西・ほほえみ厚別 年間行事報告

(単位：名)

月日	内容	場所	参加者数				合計
			利用者	ボランティア	職員	その他	
2019年 4月17日	防災を学んでみよう!	ほほえみ西集会室	16	4	4	0	24
5月22日	お花見会	北大動物園	20	5	5	0	30
6月11日	カフェ食事会	ほほえみカフェ	15	4	4	0	23
7月17日	社会見学	円山動物園	19	6	4	0	29
8月2日	カ・コ・ラ札幌工場	カ・コ・ラ札幌工場	17	5	4	0	26
9月6日	「防災を楽しく学ぼう」	千歳市防災学習交流センター	13	4	4	0	21
10月6日	ろうあ者文化祭典	身体障害者福祉センター	13	6	4	0	23
11月27日	社会見学	さけ科学館	18	6	4	0	28

12月24日	クリスマス会	身体障害者福祉センター	27	15	4	2	48
2020年 3月21日	ほほえみ厚別ありがとう会	ほほえみ厚別	17	8	2	4	31

(4) 2020年度に向けての課題

①ほほえみ西

②ほほえみ西は新しい場所でスタートし、休止になったほほえみ厚別の利用者也西の利用者と一緒にのびのび過ごせる環境を整える。

③高齢化に伴い、利用者の生活にも変化が出ており、地域活動支援センターへの通所に関しては他施設や家族との連携を密にしていく必要がある。

2. 就労継続支援事業（指定障害福祉サービス事業）

就労継続支援B型事業（定員：35名）

障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業として、聴覚障害者が安心して働くことのできる作業所の運営を行なった。

(1) 利用者数

(単位：名)

	19年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年 1月	2月	3月
利用者数	43	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	40
延べ利用者数	580	596	638	713	587	589	639	586	590	562	555	479

(2) 行事参加状況

(単位：名)

月日	内容	場所	参加者数				
			利用者	ボランティア	職員	その他	合計
2019年 7月27日	社会見学	三笠高校レストラン、三笠鉄道記念館	29	4	9	0	42
10月6日	札幌ろうあ者文化祭典	身体障害者福祉センター	28	2	12	0	42
10月23日	日帰り旅行	水族館、天狗山ロープウェイ	21	0	14	0	35
2020年 1月11日	鏡開き (白石少年武道教室)	札幌刑務所振武館	2	0	1	0	3
2月24日	仲間の話し合い	視聴覚障がい者情報センター	31	0	12	0	42

(3) 出店バザー

月日	行事名	場所
2019年 4月4日, 5日	福祉バザー清田	清田区役所
4月8日, 9日	郵便局バザー	南郵便局
4月14日	ほほえみ後援会バザー	市視聴覚障がい者情報センター

4月15日	訪問販売	札幌市産業振興センター
4月21日	盲導犬協会	北海道盲導犬協会
5月11日	訪問販売	札幌市産業振興センター
5月21日	訪問販売	介護老人保健施設 エル・クオール平和
5月23日	白石区役所バザー	白石区役所
5月24日	訪問販売	あかしあ学園
5月26日	社員総会	市視聴覚障がい者情報センター
5月27日	郵便局バザー	南郵便局
5月30日	訪問販売	和田精密技研株式会社
6月7日	訪問販売	札幌市産業振興センター
6月17日, 18日	郵便局バザー	南郵便局
6月21日	訪問販売	介護老人保健施設 エル・クオール平和
6月29日	あかしあ喫茶	札幌市あかしあ学園
6月27日	郵便局バザー	豊平郵便局
6月29日	あかしあ喫茶	札幌市あかしあ学園
7月3日	高恩寺バザー	高恩寺
7月3日	訪問販売	札幌市産業振興センター
7月9日	訪問販売	和田精密技研株式会社
7月18日	訪問販売	介護老人保健施設 エル・クオール平和
7月18日	白石区役所バザー	白石区役所
7月20日, 21日	小規模作業所 製品展示即売会	サンピアザ光の広場
7月21日	高聾祭	北海道高等聾学校
8月2日	訪問販売	札幌市産業振興センター
8月16日	訪問販売	介護老人保健施設 エル・クオール平和
8月21日	郵便局バザー	豊平郵便局
8月26日	郵便局バザー	南郵便局
9月6日	訪問販売	あかしあ学園
9月10日	訪問販売	介護老人保健施設 エル・クオール平和
9月13日	訪問販売	札幌市産業振興センター
9月19日	白石区役所バザー	白石区役所
9月27日	訪問販売	和田精密技研株式会社
10月4日	訪問販売	札幌市産業振興センター
10月5日	いっしょにね	北翔大学札幌円山キャンパス
10月6日	札幌ろうあ文化祭	市身体障害者福祉センター
10月10日, 11日	福祉バザー	清田区役所
10月18日	訪問販売	介護老人保健施設

		エル・クオール平和
10月21日	郵便局バザー	豊平郵便局
10月25日	訪問販売	和田精密技研株式会社
10月28日	バザー in 元気ショップ	元気ショップ
11月8日	訪問販売	札幌市産業振興センター
11月11日	郵便局バザー	南郵便局
11月14日	白石区役所バザー	白石区役所
11月18日, 19日	郵便局バザー	豊平郵便局
11月22日	訪問販売	和田技研
11月30日, 12月1日	合同研修会	札幌市社会福祉総合センター
12月4日, 5日	郵便局バザー	豊平郵便局
12月5日, 6日	福祉バザー	清田区役所
12月6日	訪問販売	札幌市あかしあ学園
12月13日	訪問販売	札幌市産業振興センター
12月16日, 17日	郵便局バザー	南郵便局
2020年 1月10日	訪問販売	札幌市産業振興センター
1月16日	白石区役所バザー	白石区役所
1月22日, 23日	郵便局バザー	豊平郵便局
1月26日	市内手話サークル 研修交流会	視聴覚障がい者情報センター 札幌市社会福祉総合センター
1月31日	訪問販売	和田精密技研株式会社
2月7日	訪問販売	札幌市産業振興センター
2月20日, 21日	福祉バザー	清田区役所
2月28日	訪問販売	合同会社なごみ
3月5日	訪問販売	北海道ろうあ連盟 札幌聴覚障害者協会
3月6日	訪問販売	和田精密技研株式会社
3月19日	訪問販売	札幌聴覚障害者協会
3月26日	訪問販売	和田精密技研株式会社

(4) 委託販売場所

	店名	場所
1	元気ショップ	大通東西線コンコース内
2	元気ショップ「いこーる」	札幌駅西コンコース内
3	Ohana E.S 合同会社	市民交流プラザ等
4	円山動物園	西門オフィシャルステーション内

(5) 実習 受け入れ状況

月日	期間	学校名	学年	人数	性別	内容
2019年 10月28日～ 11月1日	5日間	北海道高等聾学校 専攻科	1年	1	男	就業体験

11月15日	1日	北海道札幌聾学校	1年	2	男女	職場体験
--------	----	----------	----	---	----	------

(6) 見学・取材 受入れ状況 (単位：名)

月日	見学場所	人数	団体名・見学内容
2019年 9月5日	ほほえみカフェ ほほえみ作業所	22	小樽ろうあ協会 施設見学
10月28日	ほほえみ作業所	1	ボランティア希望 施設見学
11月1日	ほほえみ作業所	1	ボランティア希望 施設見学
12月2日	菓子工房ほほえみ	1	ボランティア希望 施設見学
2020年 1月31日	菓子工房ほほえみ	3	ボランティア希望 施設見学
3月12日	作業所・工房 カフェ	3	施設見学

(7) 防災訓練

月日	場所	参加者数				
		仲間	ボラ	職員	その他	合計
2019年 7月24日	札幌市視聴覚障がい者 情報センター	23	0	9	0	32
9月5日	市立米里小学校	9	0	7	0	16

(8) 送迎サービス

(ア) 盲ろうの仲間 (自宅⇔各事業所：徒歩・送迎車)

月	19年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年 1月	2月	3月	合計
回数	79	65	69	74	74	58	65	77	97	104	118	71	880
職員送 迎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家 族 (ボランテ ィ)	8	8	6	8	5	6	9	10	21	25	16	1	123
送 迎 車	0	0	2	0	0	0	0	3	11	13	30	1	60

(イ) 事業所間の送迎 (地下鉄⇔作業所：送迎車) (盲ろう者他)

月	19年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年 1月	2月	3月	合計
回数	136	145	187	213	184	176	166	144	148	154	134	117	1787

(9) ほほえみ作業所

さまざまな体験を通して、一人ひとりの持っている力を活かした就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

内容：下請作業・施設外就労・自主製品制作及び販売、送迎サービス、防災訓練等実施

①取り組み：下請け・委託作業

包装作業	シール貼作業【164,698枚】 タグ付け作業【7801個】 袋詰め作業【月～金】 たたむ作業【28,000枚】
施設外就労	企業内での包装作業【41回】
新聞帯封作業	札幌協の新聞と北聴新聞・ほほえみ便りの発行作業
手提げの紐つけ作業	【21,619枚】袋の裁断作業も行っている。
真空包装作業	1か月10000ヶ程度生産を行っています。

②授産製品の見直しや工夫による効果

手芸品	着物生地を使い着物型のティッシュケース、カバン等を製作。 その他新しい商品を考え売り上げを増やすよう取り組んでいる。
紙製品	点字の封筒は新しい形や大きさを変えて製作した結果、販売数が増えた。引き続き丁寧に製作するようにしていく。

③作業所の売上推移

(単位：円)

	バザー	ショップ	下請作業	収入計
4月	14,774	30,547	165,954	211,275
5月	7,384	14,117	156,617	178,118
6月	8,260	25,542	147,335	181,137
7月	11,998	17,862	98,777	128,637
8月	2,394	12,912	125,711	141,017
9月	720	32,462	115,656	148,838
10月	18,956	10,495	81,491	110,942
11月	3,300	8,930	207,979	220,209
12月	22,708	19,075	167,324	209,107
1月	7,200	30,280	95,384	132,864
2月	1,189	17,155	232,088	250,432
3月	0	14,435	137,251	151,686
合計	98,883	197,522	1,767,857	2,064,262

【目標】

ほほえみ作業所では、下請会社が新たに1社増え、売上増につなげることができた。

2020年度は、作業効率をあげるため各企業への運搬時間を調整しながら受注量を増やせるよう取り組んでいきたい。

(10) 菓子工房ほほえみ

社会参加を目的とし売上を伸ばすだけでなく、納品やバザー、訪問販売等を通して、社会とのかかわりを促した。

作業時間：月～金 9:30～15:30

場所：白石区菊水3条3丁目2-8

内容：菓子・パン製造、販売、送迎サービス、防災訓練等



①取り組み：現状の把握をしながら、商品の開発利用者の技術の向上を目指す。

製菓・製パン作業	製パンでは、販売場所に合わせてパンの種類を変えたところ売上げ増に繋がった。製菓では、新商品のマフィンを行事ごとに種類を変え、予約販売を行い予定数を超える注文をいただいた。
ミニショップ	何を販売しているのかわかりやすいようにパンの種類を黒板でお知らせしたところ、お客様の注文がスムーズになった。
社会への参加	菓子工房だけの外出行事を実施し、仕事以外での様子を知ることができた。また、訪問販売に行く機会を増やすことでお客さまとのやり取りなどを通して、様々な経験をすることができた。

②来客数・売上

月	ショップ 売上 (単位：円)	その他売上 (単位：円)	菓子工房 売上 (単位：円)	来客数 (単位：名)	営業日数 (単位：日)
4月	29,363	51,405	80,768	85	11
5月	20,775	51,856	72,631	59	10
6月	25,806	47,577	73,383	67	11
7月	25,583	46,392	71,975	57	11
8月	26,859	43,542	70,401	49	9
9月	28,416	74,153	102,569	66	8
10月	31,417	84,809	116,226	59	8
11月	38,366	48,519	86,885	54	10
12月	35,669	76,569	112,238	58	8
1月	25,282	61,869	87,151	46	11
2月	21,660	56,254	77,914	46	9
3月	37,641	45,214	82,855	25	9
合計	346,837	688,159	1,034,996	671	115

③新しい取り組みと効果

イベント毎のマフィン製造	パンと違い、同時進行で作業を進めることができるので多くの仲間が作業に関わることが出来た。
--------------	--

【目標】

菓子工房ほほえみでは、製菓、製パン作業を通してやりがいのある仕事を提供し、社会参加につながる経験ができるよう取り組みを続ける。

(11) ほほえみカフェ

菓子製造・喫茶業務の仕事を通して、新たな可能性を広げられるよう就労支援を行った。

作業時間：火～土 9：30～15：30

場所：豊平区豊平3条7丁目1-1

内容：菓子・ケーキ製造、販売、接客、調理補助、清掃等

①来客数・部門別売上

月	人数(名)	カフェ部門(円)	菓子部門(円)	計 (円)
4月	357	254,030	321,138	575,168
5月	273	182,560	255,411	437,971
6月	301	229,680	192,396	422,076
7月	245	196,970	213,541	410,511
8月	251	214,290	227,222	441,512
9月	305	232,860	247,414	480,274
10月	289	214,250	441,061	655,311
11月	284	271,511	121,200	392,711
12月	299	242,720	568,576	811,296
1月	236	215,410	223,103	438,513
2月	298	397,606	112,097	509,703
3月	125	226,220	193,471	419,691
計	2,363	2,878,107	3,116,630	5,994,737

②ギャラリー貸出、イベント

内容	期間	詳細・実績等
ギャラリー 無料貸出	4月～5月	デフフォトクラブ写真展
	6月	きたの 様
	7月	三浦 様
	8月～9月	ぶんれい一座の絵手紙展
	10月	地域活動支援センター
	11月	デフフォトクラブ写真展
	12月	ワークショップ「実の里」様 利用者さんの絵画
	1月～2月	伏見支援学校高等部 作品展
	3月	中止
手話サロン	第1又は第2 水曜日	平均参加人数18名
絵手紙教室	第1、第3 木曜日	平均参加人数6名

③取り組み

期間	内容
4月～3月	カフェにて委託販売（トマトソース・味噌等）
4月～3月	南郵便局、豊平郵便局バザー（3～5回/月）、白石区役所バザー
4月～10月	ほほえみ手稲（1回/月）、エル・クオール訪問販売（1回/月）
4月～3月	さっぽろ産業訪問販売、あかしあ訪問販売、和田歯技研訪問販売
4月～3月	元気ショップ・いこーるでシフォンケーキ販売開始

	ハワイスコーン委託製造
5月	母の日菓子販売
10月	ハロウィーンケーキ販売
12月	クリスマス特別ランチとクリスマスケーキ販売
2月	バレンタインケーキ販売

【成果及び目標】

ほほえみカフェでは、通所者と職員が定期的に話し合いの機会を作り、新製品の開発に努めた。昨年度スタートした委託製造は、注文数が増え売れ行きが好調であった。また新たに、パンメニューを増やすなど、工夫をした。

2020年2月までは、昨年度の売り上げを上回っていたが、新型コロナウイルス拡大の影響を受け、2020年3月はバザーや訪問販売が中止となり、また来客数が大幅に減ったことにより収益に影響があった。

2020年度は、新商品の開発に力を入れ、売り上げ増を目指し、販売先の新規開拓にも努めたい。

また新しい通所者を増やすために、カフェの魅力を伝えるイベントの企画を考えていきたい。

(12) ほほえみ食堂

調理・接客業務の仕事を通して新たな可能性を広げる就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9：30～14：30

場所：西区二十四軒2条6丁目札幌市身体障害者福祉センター内

内容：調理・接客、販売、清掃等

来客数・売上

月	人数(名)	営業日数(日)	食堂・収入(円)
4月	451	18	248,240
5月	355	17	212,939
6月	486	18	272,509
7月	494	20	272,811
8月	398	18	231,542
9月	425	17	231,927
10月	506	21	341,088
11月	504	18	261,932
12月	369	18	205,358
1月	366	17	198,925
2月	323	16	186,836
3月	191	9	71,034
計	4,868	207	2,735,141

【成果及び目標】

ほほえみ食堂では、利用者と職員が話し合いを重ねて、お客様に喜んでいただけるようなイベントやお得メニューなどを工夫した。

消費税率が上がることから4月よりメニューの一部値上げを行ったがお客様

にはご理解いただきました。

2020年2月までは、昨年度の売り上げを上回っていたが、新型コロナウイルス拡大の影響を受け、3月は食堂業務ができず売り上げ減となってしまった。

2020年度は、衛生面でも十分注意し、また利用者の健康面でも配慮したい。定食献立を工夫し、また味にこだわることで常連のお客様を増やせるよう努力したい。

### 3. 共同生活援助事業（指定障害福祉サービス事業）

共同生活援助事業（外部サービス利用型）（入居定員5名）

障害者総合支援法に基づく共同生活援助事業として、聴覚障害者が安心して生活できる場所の運営を行った。

#### ①利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延人数	147	149	145	150	150	143	151	146	148	146	141	155

#### ②行事

##### ⑦防災訓練 3回実施

月日	場所	参加人数			
		入居者数	職員数	その他	合計
2019年 7月24日	札幌市聴覚障がい者 情報センター 「地震、津波について」	5	2	0	7
2019年 9月5日	札幌市立米里小学校 白石区防災訓練	5	2	0	7
2019年 3月24日	施設内 地震時の対処法	5	2	0	7

##### ⑧外出レクリエーション

月日	場所	参加者数			
		入居者数	職員数	その他	合計
2019年 4月29日	サッポロさとらんど	5	3	0	8
5月3日	陶芸体験(中央区円山)	5	3	2	10
10月7日	ほほえみの郷見学交流	5	3	0	8

\*季節の行事は 随時行っている。 11月に定期健康診断受診（勤医協札幌病院）

#### ③見学者

月日	年齢	性別	見学内容
2019年 11月28日	20代	女	入居相談
2020年 3月12日	20代	女	入居相談・施設見学

#### 【取り組みと成果】

相談室や札幌市自閉症・発達障がい者支援センターおがる等と連携し入

居者の支援について、ケース会議を行った。その後、より本人主体の支援を提供することができるようになった。

【目標】

生活習慣病の予防、改善のため、ウォーキング等の運動を促し、健康に留意した食事の提供を行う。また、持病などを理解できるよう働きかけ、より健康に暮らせるよう取り組んでいきたい。

4. 職員研修

(地域活動支援センター・就労継続支援B型事業所・共同生活援助事業所)

月日	研修内容	担当・講師等	参加者	
			人数	対象
5月11日	新職員研修	公益社団法人札幌聴覚障害者協会事務局長	1	新職員
5月11日	全職員研修（アンガーマネジメント）	日本アンガーマネジメント協会 山本康夫氏	15	全職員
6月6日	キャッシュレスセミナー	株式会社寺岡精工	1	全職員
8月22日	軽減税率セミナー	税理士法人さくら総合会計 山本剛史氏	5	現場担当者
8月28日	室蘭言泉学園施設見学（B型・生活介護・グループホーム）	室蘭言泉学園職員 篠原様	18	全職員
9月3日	軽減税率セミナー	支援センターほほえみ職員 菅野・太田	14	全職員
10月26日	全職員研修「成年後見制度」	弁護士 及川啓紀氏	15	全職員
11月8日～9日	全国ろう重複協施設長会議・研修	全国ろう重複障害者連絡協議会	1	所長
11月16日～17日	全国聴覚言語障害者福祉研究交流会	全国ろう重複障害者連絡協議会	3	全職員
12月15日	障害者総合支援法に基づく集団・虐待防止・働き方改革等	札幌市保健福祉局障がい保健福祉課 菊池氏他	1	管理者
12月21日～22日	全国ろう重複協主任指導員会議・研修	全国ろう重複障害者連絡協議会	1	現場責任者
1月12日	HACCP導入講習会	一般社団法人札幌市食品衛生協会	1	B型職員
2月4日	非常災害時対応マニュアル・緊急時対応マニュアル	ほほえみ作業所 所長 柏崎	14	B型職員
2月12日	HACCP導入講習会	一般社団法人札幌市食品衛生協会	1	現場責任者

5. 聴覚障害者支援センターほほえみ事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱  
 期間：2019年4月～2020年3月（年3回実施）  
 会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
第1回	2019年4月13日	11名	第3回	2020年1月18日	10名
第2回	9月28日	11名			

時間：10：00～12：00

運営委員：

北海道高等聾学校：菊池涼教諭  
 北海道札幌聾学校：飯出広行教頭  
 札幌手話サークル連絡協議会：中村博子副会長、吉田美穂会計部長  
 札幌手話通訳問題研究会：森川僚事業部次長、佐藤薫会計部次長  
 聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：樋口道雄事務局長  
 那須美枝子会計部長

聴覚障害者支援センターほほえみ

就労継続支援B型事業所ほほえみ作業所：柏崎弘子所長  
 ほほえみカフェ：秋井利江店長

聴覚障害者支援センターほほえみ

地域活動支援センター：岩崎剛所長  
 （公社）札幌聴覚障害者協会：宮内博子副理事長、佐藤正昭理事

【福祉・労働部】

・毎回、各所長より事業報告の後、質疑応答、意見交換や情報交換を行った。今後も運営委員から意見交換とアドバイスをいただきながら、より良い運営を行っていく。

6. 聴覚障害者支援センターほほえみ後援会主催の街頭募金活動（参加協力）

聴覚障害者支援センターほほえみの運営を円滑にするため、後援会主催の街頭募金活動に参加協力をした。

日時：2019年6月9日（日）・9月1日（日）

場所：大通公園周辺・狸小路4丁目

【福祉・労働部】

街頭募金活動に各支部や柔道少年団体など多数の参加を頂き、協力に感謝します。

各区より参加予定者数を前もって連絡頂けたので、後援会に伝え、担当場所の振り分けを決めて頂きました。

〔課題〕：大通周辺の催事（歩行者天国）の音量が大きく歩行者に聞こえるように声を張り上げて頑張った。今後、募金活動場所の選定を考えていきたい。

## II 字幕・手話付き映像作品の制作

### 1. 聴覚障がい者向け映像資料制作事業（札幌市委託事業）

札幌市の聴覚障害者のニーズを把握し、聴覚障害者への情報提供に資する貸出用ビデオ、札幌市政に関するインターネット配信用動画を制作した。

期間：2019年4月～2020年3月（年間）

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター聴覚障害者情報提供施設事務室

内容：年間33本制作（内訳は以下のとおり）

#### （1）講座撮影・教材 6本

分類	タイトル	時間(分)
講座 (3本)	みんなで一緒に舞台を楽しもう～演劇って楽しいんだよ！～	66
	ろう者の犯罪～ある誘拐・監禁・傷害事件から学ぶこと～	114
	2019年度 聴覚障害の基礎知識	65
教材 (3本)	生活のウラワザ	17
	2019年度手話を読み取ろう①	15
	2019年度手話を読み取ろう②	20

#### （2）ニュース 12本

タイトル	時間(分)
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年4月号)	25
① 2019年度新規札幌市登録手話通訳者 ② 手話言語条例について学ぶ社会生活教室	
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年5月号)	27
① 非常食の試食会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年6月号)	38
① 聴覚障がい者の観劇支援について	
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年7月号)	32
① ほほえみ作業所で気象庁出前講座	
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年8月号)	42
① 北海道聴覚障がい者情報センター開設 ② 口腔ケアの大切さ	
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年9月号)	40
① ほほえみ講演会創立10周年 ② 敬老会でファッションショー	
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年10月号)	35
① 第44回札幌ろうあ者文化祭典 ② とも創立20周年記念祝賀会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年11月号)	25

① 札幌協厚別区支部創立30周年記念式典	
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年12月号)	28
① クリスマスの由来について ② コンサドーレのサンタ隊がほほえみの郷訪問	
札幌聴覚障がい者ニュース(2020年1月号)	25
① 第33回市内手話サークル研修交流会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2020年2月号)	25
① 冬の防災	
札幌聴覚障がい者ニュース(2020年3月号)	20
① ほほえみ厚別ありがとう会	

(3) 自主企画制作 5本

タイトル	時間(分)
2019年度札幌市手話動画集(1)	25
ダンボール箱で燻製作り	27
イチバンを探しに行こう!	22
北海道の岬巡り	11
2019年度札幌市手話動画集(2)	29

(4) インターネット配信用映像(札幌市政に関する内容) 10本

タイトル	時間
2019年度札幌市手話講習会合同講義	7分10秒
風しんの追加的対策	5分24秒
おたふくかぜ任意予防接種費用の一部助成について	5分57秒
ガソリンの容器への詰め替え購入について	2分52秒
2019年度札幌市手話講習会修了式	5分47秒
高齢者世帯自動消火装置設置費助成事業のご案内	8分42秒
心のバリアフリー推進マークについて	3分21秒
ワックスエステルを含有する魚に注意してください	3分33秒
新型コロナウイルス相談窓口ファックス番号	2分52秒
さっぽろ受動喫煙防止宣言	10分7秒

2. 「目で聴くテレビ」用ビデオ制作

認定NPO法人障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」へ『札幌デフビデオ』12本(毎月1本)の他、「それいけ! くいしんぼ」1本を提供。

3. 職員研修

「令和元年度聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会」に参加  
(参加者: 長谷職員)

日程: 2019年11月13日~15日(3日間)

会場: 岩手県立視聴覚障がい者情報センター(岩手県盛岡市)

〈1日目〉主な内容

「聴覚障害者に対する事業の取り組みから」



講師：三浦 宏之氏（株式会社プラスヴォイス代表取締役）

「動画の制作と活用～大学教員の立場から～」

講師：大杉 豊氏（動画の制作と活用～大学教員の立場から～）

〈2日目〉主な内容

「電話リレーサービスの動向」

講師：小竹 安治氏（特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会理事）

「デフVによる【専門用語の手話単語】とホームページの活用」

「岩手の映像制作の取り組み」

講師：岩手県立視聴覚障がい者情報センター職員 2名

ワークショップ（映像制作研修）

〈3日目〉ワークショップと作品視聴

#### 4. 2020年度からの新規事業（予定）

札幌市長の定例記者会見に手話を付けた動画（※字幕なし）を制作する新規事業について、2017年度末から2019年度にわたり広報課と協議を続けていたが、「2020年度4月に入ってから契約を交わして、事業を開始する準備を進めている」と、3月末に広報課より連絡が入った。

### Ⅲ 字幕・手話付き映像作品及び情報機器の貸出等

#### 1. 聴覚障がい者向け映像資料等貸出事業（札幌市委託事業）

##### （1）業務内容

- ①聴覚障がい者の文化享受の増進を図るために、聴覚障がい者に対して、字幕または手話付き映像資料等の貸出を行なった。
- ②聴覚障害者の利便に資する情報機器を展示し、情報機器の啓蒙・啓発を行なうとともに、機器の利用に関する相談に応じた。
- ③パソコンを聴覚障がい者に対し利用開放するとともに、操作方法等の指導を行なった。
- ④聴覚障害者情報提供施設内の受付・案内業務等、聴覚障害者情報提供施設にかかわる事務を行なった。

（2）期間：2019年4月～2020年3月

（3）場所：市視聴覚障がい者情報センター2階貸出室

（4）開室時間

曜 日	開室時間
月曜日	10時～17時
火曜日	10時～17時
水曜日	10時～20時45分
木曜日	10時～19時
金曜日	10時～20時30分

（5）貸出内容

①聴力障害者情報文化センター（東京）制作ビデオ等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	15	13	24	28	23	17	25	10	15	5	0	0	175
利用人数	3	2	4	5	6	5	6	2	38	2	0	0	73
利用件数	7	6	8	11	9	7	10	3	6	2	0	0	69

②札幌市委託事業で札幌協が制作したビデオ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	100	95	83	97	53	46	41	34	22	17	19	5	612
利用人数	134	78	91	60	50	16	19	27	42	9	101	12	639
利用件数	54	54	56	52	26	23	27	19	13	12	14	4	354

③情報機器利用貸出(ビデオ、DVD閲覧、IT閲覧、「目で聴くテレビ」閲覧、プロジェクター利用) (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ビデオ閲覧	2	2	1	28	2	0	2	0	1	0	0	0	38
IT閲覧	2	0	0	2	0	0	4	0	1	0	2	0	11
目で聴く閲覧	4	4	4	30	4	4	4	4	5	7	6	6	82
手話学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	19	26	34	24	31	14	22	13	7	13	8	4	215
OHC	2	1	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8
合計	29	33	43	60	37	18	32	18	14	20	16	10	354

(6) 貸出対象者：北海道内に住所を有する次の者

- ①身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者（児）及び保護者
- ②聴覚障がい者関係団体、学校及び施設
- ③手話通訳に係るボランティアなど聴覚障がい者の福祉向上に関心がある者

2. 全国各地の聴覚障害者団体の機関紙閲覧

全国各地の聴覚障害者団体から送られてくる機関紙をビデオ・情報機器利用貸出室で自由に閲覧できるように随時、整理した。

3. 札幌市視聴覚障がい者情報センター 見学対応

(見学場所：ビデオ・情報機器利用貸出室、スタジオ、聴能言語訓練室、手話通訳者派遣室)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体(件)	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3
個人(件)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
人数	0	0	0	0	0	23	0	11	35	0	0	0	69

見学団体一覧

- ・小樽ろうあ協会(9月)
- ・札幌医学技術福祉歯科専門学校(12月)
- ・札幌心療福祉専門学校(11月)

4. 備考

- (1) 全体的に貸出実績は年々落ちてきている。きこえる人よりも、ろうあ

者の方が借りる人が少ないので今後、ろう関係団体にビデオ上映などの取り組みを行っていきたい。

(2) 2019年度同様、当協会のホームページやSNSによる情報発信を強化していく。そして、聴覚障害者関係団体への情報提供に努めていきたい。(団体はサ高住やほほえみ関係、手話サークルなど)

(3) 3月は、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響で、利用者(来館者)が少なかったと考えられる。

#### IV 聴覚障がい者社会生活教室の開催

札幌市聴覚障がい者社会生活教室開催等事業(札幌市委託事業)

聴覚障害者の生活相談及び生活支援に対応し、必要な知識の習得や情報交換を目的とし行なった。

##### 1. 聴覚障がい者社会生活教室の開催

障害者総合支援法の「生活訓練等事業」に基づき、①職場生活②コミュニケーションの方法③家庭の生活設計④育児⑤芸術、文化等一般教養⑥人間関係等に関する内容の教室を開催した。

期間：2019年4月～2020年3月

(2019年度は30回開催、うち協会各区支部で2回ずつ開催)

会場：市視聴覚障がい者情報センター・各区民センター他

参加対象：札幌市内存住で身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者

##### (1) 社会生活教室開催状況

月日	テーマ	講師 ※敬称略	参加者
4月13日	手話言語条例とは何かを学ぼう	佐藤英治(公益社団法人北海道ろうあ連盟副理事長)	17名
5月12日	もし災害が起こったらあなたはどうする?	長谷川徹(札幌市危機管理対策室危機管理対策課長)	20名
5月19日	聞いてみよう!介護について	伊藤清恵(札幌市社会福祉協議会ボランティア活動係/介護福祉士)	26名
5月19日	災害に備えて考えよう!	松坂彰(札幌市危機管理対策室 計画・原子力災害対策担当課長)	28名
5月30日	命を守る“水”見直そう!水分補給	堤秀子(株式会社明治 北日本支社札幌オフィス企画管理部コミュニケーション課)	44名
6月16日	自分流エンディングノートの書き方	横江光良(北海道金融広報委員会金融広報アドバイザー)	10名
6月23日	クラフトバンドのカゴ作り	青野俊子(クラフトバンドエコロジー協会認定インストラクター)	15名
6月27日	カラダは食べた物からできている	堤秀子(株式会社明治 北日本支社札幌オフィス企画管理部コミュニケーション課)	40名
7月6日	いつおこるかかわからない災害に備えて	水口綾香(フフジカン代表・防災備蓄収納マスタープランナー)	10名
7月7日	災害に備えて!	札幌市危機管理対策室 職員	20人

7月21日	災害の心構え	水口綾香（フフジカン代表・防災備蓄収納マスタープランナー）	14名
8月4日	知っておこう！防災の心得	札幌市危機管理対策室 職員	6名
8月4日	笑いヨガ	長谷川 恵（ラフターヨガインターナショナルユニバーシティティティーチャー）	10名
8月8日	ヨーグルトのひみつ	堤秀子（株式会社明治 北日本支社札幌オフィス企画管理部コミュニケーション課）	32名
8月18日	災害時の取り組み	札幌市危機管理対策室 職員	12名
8月18日	口腔ケアの大切さ	山下美智子（介護老人保健施設プラットフォーム職員・看護師）	7名
8月31日	消費税が10%になったら？	横江光良（北海道金融広報委員会・金融広報アドバイザー）	8名
8月31日	防災気象情報の上手な活用法	森山知洋（気象予報士・防災士・北海道防災教育アドバイザー）	20名
9月28日	軽減税率って何？消費税のおはなし	横江 光良（北海道金融広報委員会・金融広報アドバイザー）	4名
10月10日	消費税～10%と8%～	横江 光良（北海道金融広報委員会・金融広報アドバイザー）	27名
10月20日	最近のお葬式事情	澤 知里（認定NPO法人葬送を考える市民の会・代表理事）	8名
11月14日	住宅に潜む火災危険と対策	小川 忠司（札幌市中央消防署予防課防火推進係長）	34名
11月17日	簡単！和菓子作り体験	畠山和子（食品衛生責任者）	10名
11月17日	まさかの時の備え あなたは大丈夫？	水口綾香（フフジカン代表・防災備蓄収納マスタープランナー）	12名
11月24日	3B体操で楽しく健康づくり	佐藤詠子（日本3B体操協会公認指導者）	10名
2月1日	ふまねっとを体験してみよう！	安藤百合子（認定NPO法人ふまねっと札幌支部事務局）	7名
2月9日	終活	澤知里（認定NPO法人葬送を考える市民の会）	31名
2月13日	刑事手続きについて	中村純弥（阿部・千崎・平田法律事務所／弁護士）	35名
2月15日	冬の防災	森山知洋（北海道防災教育アドバイザー／気象予報士）	9名
2月16日	生活習慣病～予防のための勉強会～	町田郁子（医療法人社団藤花会江別谷藤病院 管理栄養士）	21名

(2) 月別開催回数および参加者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	1	4	3	3	7	1	2	4	0	0	5	0	30
参加者数	17	118	65	44	95	4	35	66	0	0	103	0	547

(3) 支部別参加人数

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
テーマ「災害関係」	14	20	20	12	20	8	10	12	6	28
テーマ「災害以外」	7	17	7	8	31	9	4	10	10	26

(4) その他

- ① 今年度は各支部2回開催とし、うち1回は「災害・防災」をテーマにした。
- ② 2月28日に北海道知事が新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために緊急事態宣言を発表し、札幌市の施設などが休館になったが、2月上旬に30回の開催を終えていたため、中止などの影響はなかった。

V 聴能言語訓練の実施

札幌市聴能言語訓練事業の実施（市委託事業）

コミュニケーション手段に著しい障がいをもつ聴覚障がい者に対し、その聴力の損失の程度により、残存聴力の活用、聴覚以外による言葉の習得の訓練を行ない、聴覚障がい者の自立を図るとともに社会の適応を高める訓練を実施した。

期間：年間82回

場所：市視聴覚障がい者情報センター聴能言語訓練室

訓練内容：聴力測定、補聴器のフィッティング、補聴器装用訓練、発声・発語訓練、日常生活訓練

対象：市内に居住する身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者・失語症者

①障がい別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障がい	8	8	8	7	6	6	9	8	12	5	7	9	93
中途失聴	1	2	2	4	4	2	4	3	4	3	2	1	32
重複障がい	4	8	7	6	4	3	6	5	5	4	4	2	58
言語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	18	17	17	14	11	19	16	21	12	13	12	183

②内容別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内容概説	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4
聴力検査	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	0	0	5
構音	5	4	4	5	2	3	6	3	7	2	4	5	50
総合練習	7	12	10	6	6	6	9	9	9	7	7	6	94
読話	1	0	0	1	0	0	1	0	2	1	0	0	6
その他	0	0	3	4	3	2	3	3	1	2	2	1	24
合計	13	18	17	17	14	11	19	16	21	12	13	12	183

備考

- ・オージオメータ（聴力検査機器）のメンテナンス等を市に要望し、実施された。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大による影響なし。

## VI 電話リレーサービス事業の実施（国補助事業）

聴覚障害者が一人で電話を掛けられるよう電話リレーサービス（聴覚障害者が聞こえる者と電話する際に、通訳者が間に入って手話や文字で通訳するサービス）の提供体制を構築することで、聴覚障害者の地域生活における自立の推進に資する事を目的に実施した。

・北海道・東北ブロック（札幌・宮城・福島共同）として実施。

稼働時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10時～14時	福島	宮城	札幌	札幌	福島
14時～18時	宮城	宮城	札幌	札幌	福島

サービス提供日時：月曜～金曜 10時～18時

1日8時間（祝日・年末年始は休み）

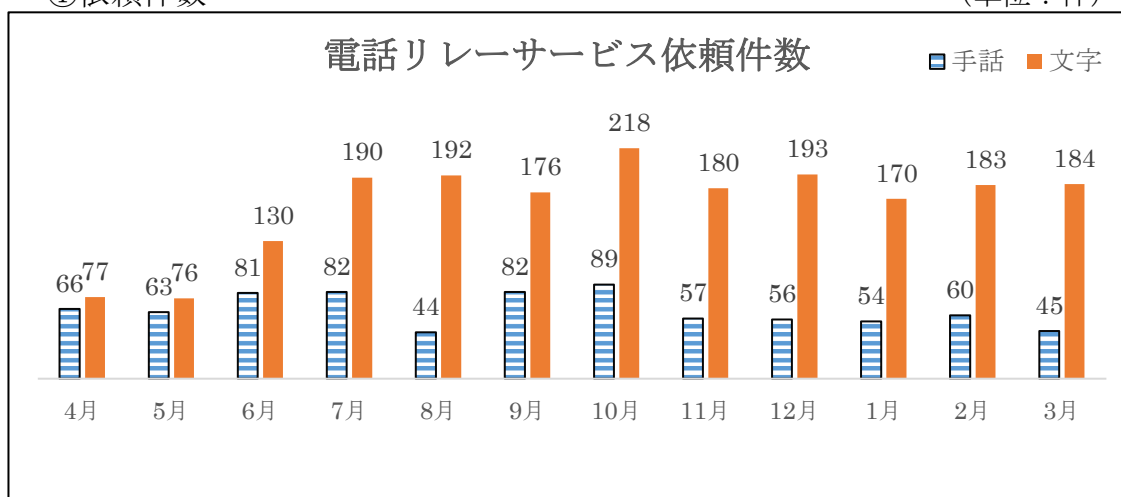
場所：市視聴覚障がい者情報センター 法人事務室

期間：2019年4月～2020年3月

対象：電話リレーサービスの利用申請をした聴覚障害者

### ①依頼件数

（単位：件）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手話	66	63	81	82	44	82	89	57	56	54	60	45	779
文字	77	76	130	190	192	176	218	180	193	170	183	184	1,969
聴者	0	0	0	1	3	2	1	0	0	0	1	0	8
合計	143	139	211	273	239	260	308	237	249	224	244	229	2,756

### ②依頼内容

（単位：件）

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問合せ・相談	75	69	70	92	84	85	143	105	108	101	127	102	1,161
予約・キャンセル	37	29	71	106	81	86	92	67	75	54	53	52	803

確認・連絡	25	30	56	63	62	78	62	58	51	60	51	50	646
買い物・注文	0	4	2	1	3	1	1	1	0	0	3	7	23
仕事・業務連絡	0	1	3	1	0	0	0	0	0	1	0	1	7
その他	6	6	9	10	9	10	10	6	15	8	10	17	116
合計	143	139	211	273	239	260	308	237	249	224	244	229	2,756

③通話時間

(単位：件)

通話時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10分以内	97	102	164	229	182	213	213	167	200	164	194	168	2,093
11分～30分	42	33	40	42	53	45	85	68	45	52	47	58	610
31分～60分	4	4	6	2	4	2	9	2	4	7	3	3	50
61分以上	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
合計	143	139	211	273	239	260	308	237	249	224	244	229	2,756

研修及び会議

①電話リレーサービス事業・実施事業所意見交換会

日時：2019年12月11日（水）13：00～19：30

場所：京都市聴覚言語障害センター

内容：電話リレーサービスを担う実施事業所の現状確認と意見交換会

派遣者：高嶋正博常務理事兼事務局長・宮本真知子職員

②電話リレーサービス事業・実施事業所会議

日時：2020年1月17日（金）10：00～15：30

場所：千葉聴覚障害者センター

内容：総務省・厚生労働省への要望書の共同提案に関する意見交換

派遣者：高嶋正博常務理事兼事務局長・京野大樹事務局次長

③電話リレーサービスオペレーター研修会

日時：1月25日（土）13：00～17：00

1月26日（日）9：00～12：00

場所：長野市生涯学習センター

内容：ICTにおける通訳とは（講義）・電話リレー演習

派遣者：宮本真知子職員

④厚生労働省・総務省との要望懇談

日時：3月26日（木）11：00～12：15

場所：厚生労働省

内容：電話リレーサービスについて

①2021年度からの公共インフラとしての電話リレーサービスについて情報を得る。

②電話リレーサービスの利用促進・啓発事業の予算化、相談等福祉的な支援を聴覚障害者に対する事業予算化を求め、総務省、厚生労働省の

方針を知る。

出席者：12名

全国聴覚障害者情報提供施設協議会：役員・要員 4名

電話リレーサービス実施事業所：

札幌、宮城、千葉、長野、京都、沖縄 6名

オブザーバー：全日本ろうあ連盟 2名

派遣者：高嶋正博常務理事兼事務局長

## VII 聴覚障害者情報提供施設事業運営会議

構成：札幌市・札幌市視聴覚障がい者情報センター・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会・（公社）札幌聴覚障害者協会

期間：2019年4月～2020年3月（年間2回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数
1	2019年7月22日	9名
2	2020年1月20日	10名

時 間：15：00～17：00

出席者：札幌市：(障がい福祉課)唐島田係長、岸職員

札幌市視聴覚障がい者情報センター：佐野所長

札幌手話サークル連絡協議会：堀副会長

札幌手話通訳問題研究会：太田副運営委員長または中村事務局長

(公社)札幌聴覚障害者協会：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、高嶋正博常務理事兼事務局長、京野大樹事務局次長、亀田雅春職員

内 容：①情報提供施設が行う事業について現況報告および意見交換を行った。

②災害時の情報提供施設の役割について意見交換を行った。

③情報センター備品の更新をお願いした。

## VIII その他（会議等）

### ①特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2019(令和元)年度総会及び第15回(通算27回)施設大会

日時：2019年6月20日（木）～21日（金）

場所：（第1日目）ホテル信濃路、（第2日目）長野市生涯学習センター

内容：1日目 2019年度総会

第15回大会（式典・講演・シンポジウム）

#### ①講演「手話通訳派遣事業における客観的業務システムの課題と今後のありかたについて」

講師：本名信行 氏（青山学院大学名誉教授）

内容：1. 理念を制定し、明記しているか

2. 適切なマネジメント体制・組織を整えているか

3. 事業所はコーディネーターの能力・職責を明示しているか



②シンポジウム「手話通訳派遣事業における客観的業務システムの課題と今後のありかたについて」

シンポジスト 厚生労働省、全日本ろうあ連盟、全国手話通訳問題研究会、全国聴覚障害者情報提供施設協議会

2日目 ブロック会議・全体会

第1ブロック（北海道・東北地区）

派遣者：高嶋正博常務理事兼事務局長（市の代理派遣）、渋谷悌子課長

②全国聴覚障害者情報提供施設協議会令和元年度第1ブロック（北海道・東北地区）活動研修会

日時：2019年11月1日（金）10：00～15：30

場所：宮城県聴覚障害者情報センター（みみサボみやぎ）

内容：①報告「各施設の実態調査資料について」

②講演「手話通訳派遣事業所の評価システムの在り方について」

講師：全国手話研修センター 常務理事 小出新一氏

内容：現在は、全国で手話言語条例制定が広がっており、営利事業として成り立つ社会に変化している。手話通訳の質を確保するために必要な評価システムの在り方について説明。

派遣者：高嶋正博常務理事兼事務局長・渋谷悌子課長・京野大樹事務局長次長

③カルチャーナイト2019に参加

日時：2019年7月19日（金）16：00～19：00

企画：「耳が聞こえない人の暮らしを知ろう！」

手話・字幕付き映像の閲覧、聴覚障害者の日常生活用具展示、テレビ電話体験

### 【公3】啓発・広報事業

#### I 「中止」ろうあ者への理解促進を図る「耳の日市民のつどい」の開催

3月3日の耳の日を記念して、聴覚障害者と手話を学ぶ市民、また一般の市民の方々と手を取り合って明日への生きる喜びを分かち合い、市民に対して、ろうあ者の存在と理解を広げる啓発を目的として企画した。

耳の日事業「第42回耳の日市民のつどい」

期日：2020年3月1日（日）

会場：北海道立道民活動センター（かでの2・7）

内容：記念講演「～夢をかなえて～ 日本初ろうのバス運転士」

講師：松山 建也 氏（東京バス株式会社）

対象：聴覚障害者、手話サークル員、一般市民等

公共施設や障害者関係・福祉関係の団体など、幅広く呼びかけを行った。

2月に北海道や札幌で新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、2月25日（土）・26日（日）の理事会で中止すること、チケット購入者にはこれまでにかかる経費の負担軽減のため500円を差し引いて払い戻しをする

ことに決定。

協会ホームページ、情報メールで中止を周知、知らずに来場する人たちに備えて当日会場に対応した。

## II ろうあ者と聞こえる人の交流の場となる「札幌ろうあ者文化祭典」

私たちろうあ者のコミュニケーションと文化の窓であり、ひいては社会的権利とも深い関わりを持つ「手話」を、福祉関係者・教育関係者・医療及び職場の方々など多勢の市民に理解していただき、お互いに自由に心を通わせることをめざして行なった。

### 1. 文化祭典事業「第44回札幌ろうあ者文化祭典」

期日：2019年10月6日（日）

会場：札幌市身体障害者福祉センター

来場者数：約450名

対象：聴覚障害者、手話サークル員、手話通訳関係者、手話を学ぶ市民等

テーマ：「手輪が広がる令和 ～咲かせよう 手話の花～」

内容：

- ・身体障害者福祉センター内の各部屋を使用し、体育館をメインに各区支部と専門部、札サ連・札通研による模擬店、聴覚障害者支援センターほほえみ、介護支援センターほほえみ、ほほえみ後援会によるほほえみコーナー（卓球室）、各団体による写真展・展示を行った。
- ・アトラクション（伝言ゲーム、手話コーラス、手話劇等）が多く、良い雰囲気盛り上がる事ができた。

### 2. 札幌ろうあ者文化祭典実行委員会の開催

期間：2019年6月～10月（5回）

場所：市身体障害者福祉センター

回	月日	時間	内容
1	6月19日（水）	19：00～	テーマ募集のお願い、役割分担、ステージ催し、お楽しみくじについて
2	7月23日（火）	19：00～	テーマ決定、担当分担決定、お楽しみくじ、ステージ催し、タイムスケジュール、チラシ案を決定
3	8月21日（水）	19：00～	体育館・大会議室・研修室・卓球室・駐車場の配置図、写真展・紹介ポスターなど、駐車券の確認
4	9月18日（水）	19：00～	マニュアル・駐車券配付、当日に向けての確認
5	10月16日（水）	19：00～	反省会

## III 聴覚障害者に関する研修会等の開催

聴覚障害者の福祉増進のために必要な調査と研究を進め、聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進めるために研修会へ参加した。

1. 聴覚障害者の福祉増進に寄与する研修会、フォーラム等の開催参加

- (1) 公益社団法人北海道ろうあ連盟道央ブロック研修会への参加  
期日：2019年7月7日（日）  
場所：江別市総合社会福祉センター  
内容：午前の部：全日ろう連評議員会報告と運動の取り組み  
全国ろうあ者大会研究分科会報告  
午後の部：健康セミナー「食中毒の予防について」
- (2) 第22回ろうあ者労働問題フォーラムへの参加（主催：北ろう連）  
期日：2019年9月29日（日）  
場所：道立道民活動センター（かでの2・7）  
内容：午前 講演「ろう者の情報保障に関わって」  
講師：西田浩文氏（NPO法人障害者放送通信機構事務局長）  
午後 グループ討論
- (3) 2019年度公益社団法人北海道ろうあ連盟リーダー育成研修会への参加  
期日：2019年11月16日（土）～17日（日）  
場所：旭川市障害者福祉センター（おびった）  
内容：16日（土）第1講目『情勢と課題』  
「全日ろう連」&「北ろう連」（運動の動き）&私たちの課題  
派遣者：福島太郎理事、佐藤尚行理事  
講師：山根昭治理事長（全国について）  
佐藤義典組織部長（北海道について）  
第2講目『地域協会の情勢』参加者全員で話し合う  
17日（日）第3講目『北海道聴覚障害者情報提供センター』  
講師：金原浩之施設長  
第4講目『会員拡大、日聴紙・MIMI読者拡大取り組み』  
参加者全員で話し合う
- (4) 2019年度 北海道ろうあ連盟スポーツリーダー育成 研修会  
主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟スポーツ委員会主催  
期日：2020年1月19日（日）  
場所：道立道民活動センター（かでの2・7）  
講演：「デフリンピック・バスケットボール競技日本代表コーチを通じて  
感じた事・想った事」  
「北海道ろうあ連盟元事務局長のお父様の背中を見て・・・」  
講師：坂本 知加良 氏（帯広豊学校教諭）
- (5) 第20回ろう教育フォーラムin北海道への参加  
期日：2019年7月28日（土）  
場所：道立道民活動センター（かでの2・7）  
午前の部 講演「私たちがめざす手話言語法とろう教育の充実」  
講師：石橋 大吾 氏  
（一般財団法人全日本ろうあ連盟理事 教育・文化委員会 委員長）  
午後の部 講演「授業および課外活動における手話言語活動  
～聞こえる者視点で できること～」  
講師：生田 政志 氏

(北海道石狩翔陽高等学校 教務部長・ボランティア局顧問)

## 2. 第12回札幌合同研修会（札幌協・札幌研）

### (1) 第12回札幌合同研修会の開催

札幌協・札幌研がともに研修会を開催し、共通する課題に取り組み、今後の各団体の組織的活動に活かすことを目的として開催した。

期日：2019年11月30日（土）・12月1日（日）

会場：札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室・視聴覚兼会議室

参加者：2日間158名、1日目講演会137名、2日目パネルディスカッション128名、第1分科会79名、第2分科会43名

内容：講演会、パネルディスカッション、分科会

#### 1日目 開会式（札幌市社会福祉総合センター 大研修室）

講演会 講演テーマ「～子どもを産み育てる権利を奪われたろうあ者～  
旧優生保護法に関する取り組み」

講師 中西 久美子 氏（全日本ろうあ連盟 理事  
情報・コミュニケーション委員会 委員長）

#### 2日目（午前）（札幌市社会福祉総合センター 大研修室）

パネルディスカッション

議論テーマ 「旧優生保護法に関する裁判の経緯と展望について」

パネラー：小野寺 信勝 氏（札幌市弁護士団）

パネラー：中西 久美子 氏（一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事）

コーディネーター：渋谷 悌子 氏（札幌手話通訳問題研究会）

#### 2日目（午後）分科会

第1分科会（札幌市社会福祉総合センター 大研修室）

テーマ 「手話の昔と今」

講師：公益社団法人札幌聴覚障害者協会 理事

第2分科会（札幌市社会福祉総合センター 視聴覚兼会議室）

テーマ クイズで学ぼう「歴史の中の障害者～差別から共生へ～」

講師：太田 利実 氏（札幌手話通訳問題研究会 副運営委員長）

閉会式（札幌市社会福祉総合センター 大研修室）

### (2) 札幌合同研修会実行委員会の開催

期間：2019年6月～12月

会場：市視聴覚障がい者情報センター

時間：18：30～20：45

実行委員：福島太郎理事(5回)、佐藤尚行理事※職員兼務(4回)

越智誠理事(5回)、畠山和子理事(2回)、河村明子職員(4回)

札幌手話通訳者問題研究会運営委員

回	月 日	回	月 日
1	6月7日	4	11月7日
2	7月11日	5	12月13日
3	8月8日		

【組織部】

講演会では、全日本ろうあ連盟理事 中西久美子氏より、聴覚障害者による「旧優生保護法」に関する問題について子どもを産み育てる権利を奪われた背景、強制不妊手術等の実態調査結果等についてお話しいただいた。

パネルディスカッションでは、「旧優生保護法に関する裁判の経緯と展望」についてコーディネーターと2人のパネラー（全日本ろうあ連盟理事 中西久美子氏、北海道合同法律事務所弁護士の小野寺信勝氏）で熱い議論が行われた。

2つの分科会に分かれ、手話の今と昔について学び、グループに分かれて様々な手話表現を参加者同士で学びあった。そして障害者やろうあ運動の歴史などクイズを通して学んだ。参加者が分科会を通して今後の活動の活力に繋げていけるようにする事ができた。

IV 「H S K 札幌障（札幌聴覚障害者協会新聞）」の発行

「H S K 札幌障」の発行事業

聴覚障害者のため幅広く福祉を提供するとともに聴覚障害者に対する理解と啓発を促すため、機関紙「H S K 札幌障」を発行した。

期間：2019年4月～2020年3月（毎月1回発行・年間12回）

発行部数：700部

対象：札幌市内の聴覚障害会員、賛助会員、購読会員、行政、関係機関等

2019年度発行内容：以下、1面見出し

4月号	2019年耳の日市民のつどい 「障害者が暮らしやすい社会を目指して」
5月号	情報コミュニケーション条例施行から1年5ヶ月、手話言語条例施行から約1年・・・ 「障がい者コミュニケーション促進委員会立ち上がる」
6月号	「社会を変えるため運動の力が必要」 札幌協第9回定時社員総会を開催
7月号	杜の都 宮城県仙台市に3,277名が集う！ 「第67回全国ろうあ者大会inみやぎ」
8月号	「北海道聴覚障がい者情報センターオープン」 聴覚障害者情報提供施設47都道府県設置達成！
9月号	「全日本ろうあ連盟青年部発足50周年祝う」 ～世代間相互の親睦と交流を深め、未来の青年へつなげる～
10月号	「第60回全道ろうあ者大会in旭川」
11月号	「手話で自由にコミュニケーションできた1日に」 手輪が広がる令和 ～手話の花を咲かせよう～
12月号	札幌協・札幌研主催第12回札幌合同研修会 「【旧優生保護法】を深く知るきっかけになった研修会に」
1月号	迎春 2020年新年のあいさつ
2月号	2020年新年交礼会 ーもっと手話が広がるように願って・・・ー 札幌協・札幌連・札幌研で力を合わせて社会を変えていこう

3月号	新型コロナウイルス感染症拡大中！ 「新型コロナウイルスに注意！」
-----	-------------------------------------

【広報部】

- ・新年号を除き、毎号、札幌協事業に関する情報を掲載した。随時、札幌聴覚障害者協会各区支部、専門部等の行事呼びかけや報告を掲載した。
- ・これまでの本文のフォントが細く読みづらかったため、4月号から読みやすいように変更した。
- ・読者会員に対して購読料振込についての記事を掲載し、締切を明記した。

V インターネットでの各種情報の提供

情報を随時更新して聴覚障害者への理解を深め、札幌協の事業を広める啓発活動を独自に制作した内容でインターネットにより進めた。

1. ホームページ「公益社団法人札幌聴覚障害者協会」

ワードプレス（ブログ投稿用ソフト）を活用して更新した。

行事のアピールの際はバナー広告を作成し、トップページに掲載した。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、トップページに札幌市等のリンク、札幌市手話動画「新型コロナウイルス相談窓口ファックス番号」をホームページで見れるように掲載した。

2. 札幌協情報メール

メール配信希望の会員に対し、情報提供のメールを随時発信した。

2019年度発信数：No. 809～849 40件

※登録者数：正会員 110名・賛助会員 46名

## 【収益等事業】

### 【収1】出版事業

1. 出版事業

手話を学ぶために必要な書籍や聴覚障害に関する書籍を販売した。

※下記に特に売り上げの多かった書籍を掲載。（2019年度売上状況）

書籍名	発行者	販売数
I 小売販売		854冊
1) 全日本ろうあ連盟発行書籍		570冊
① 手話を学ぼう 手話で話そう（入門・基礎・手話通訳）		394冊
② わたしたちの手話学習辞典 I・II		78冊
③ 全国手話検定関連本（過去問・各級）		49冊
④ 新しい手話（2018年・2019年）		49冊

2) 北海道ろうあ連盟発行書籍	209冊
① 2020年手話カレンダー 大	84枚
② 2020年手話カレンダー 小	100枚
③ 北海道の手話	9冊
3) その他団体等発行書籍	75冊
① 手話・言語・コミュニケーションNo.5. 6. 7	全国手話研修センター
① 手話・言語・コミュニケーションNo.5. 6. 7	75冊
II 札幌聴覚障害者協会制作販売	865冊
さっぽろの手話 (三訂)	778冊
さっぽろの手話 (医療編)	60冊
さっぽろの手話 (販売・接客編)	27冊

今年も耳の日市民の集いが中止になり売上増に貢献できず、他の行事も売り上げは年々減少気味である。新刊の販売も伸びず、今後の対策を考え中。札幌協独自のさっぽろの手話にQRコードを入れる作業もこれから進めていく予定。さらに、仕入過多にならないような工夫もしていきたい。

## 2. 2019年度出版物対策研究会議・第30回全国専従職員研修会

日程：2019年10月4日(金)～5日(土)

会場：福島県福島市飯坂温泉 摺上亭大鳥

参加者数：15協会28名

### 1日目 (9月4日)

1) 開会式・オリエンテーション

2) 基調報告

①出版・事業委員会：中橋 道紀理事 ②組織委員会：小出 真一郎理事

3) 講演：「協会を支える専従職員の苦悩に答える

～専従職員泣き笑い物語～

講師：石野 富志三郎理事長

4) 石野理事長との懇談会

### 2日目

1) グループ討論 (2グループ)

①三拡大 (会員・日聴紙・季刊みみ) の取り組みと専従職員の働き方について

②出版物販売促進をさらに進めよう

2) グループ討論の内容共有、全体会

3) 「協会独自出版物コンテスト」表彰式

派遣者：高嶋正博常務理事兼事務局長

## 【収2】飲料自販手数料事業

### 1. 飲料自動販売手数料事業

公共施設等に飲料自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を図るとともに、その手数料を得る事業を行なった。管理及び補充作業は清涼飲料水販売業者に委託した。

自動販売機設置個所は31ヶ所。(2019年度)

	設置先	区	飲料会社		設置先	区	飲料会社
1	市身体障害者福祉センター	西	キリン・大沼・P S・ココロ	17	栄地区センター	東	キリン
2	北区体育館	北	P S	18	厚別南地区センター	厚別	ジャパン
3	東区体育館	東	大沼	19	手稲曙温水プール	手稲	キリン
4	豊平区体育館	豊平	大沼	20	もいわ地区センター	南	ジャパン
5	南区体育館	南	大沼	21	白石東地区センター	白石	ジャパン
6	西区体育館	西	キリン	22	星置地区センター	手稲	ジャパン
7	清田区民センター	清田	キリン	23	白石区複合庁舎	白石	キリン
8	手稲コミュニティセンター	手稲	キリン	24	清田区体育館・プール	清田	ジャパン
9	市社会福祉総合センター	中央	キリン (3カ所)	25	清田区役所	清田	キリン
10	手稲区役所	手稲	キリン	26	札幌市下水道河川局	豊平	ジャパン
11	厚別区役所	厚別	大沼	27	中島体育センター	豊平	キリン
12	平岸プール	豊平	キリン (2カ所)	28	すみかわ地区センター	南	P S
13	中央図書館	中央	キリン	29	手稲区民センター	手稲	キリン
14	西野地区センター	西	キリン	30	スポーツ交流施設 (つどむ)	東	ジャパン
15	中央健康づくりセンター	中央	大沼	31	札幌市視聴覚障がい者情報センター	中央	キリン・大沼
16	はっさむ地区センター	西	キリン				

※キリン=キリンビバレッジ、大沼=サントリー、コーラ=コカコーラ、P S=P S ビバレッジ、ジャパン=ジャパンビバレッジ

2019年度は清田区民センター、手稲曙温水プールが工事のために年度途中から休館となったため、売り上げが減少してしまった。

改修工事に伴い、3月末付で厚別南地区センターの自販機を撤去することが決定した。改修工事終了後は別の飲料会社に依頼し再設置してもらう予定。

今後、中央区複合庁舎が建てられるという情報があり、設置してもらうように交渉していく予定。



## 【収3】 さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業

### I デイサービスほほえみ白石

地域密着型通所介護事業及び介護予防通所介護事業

(介護保険・介護予防指定事業) ※指定開始日 2014年6月1日  
2017年3月31日以降事業休止。2020年度4月6日より事業再開

### II ヘルパーステーションほほえみ白石

- ① 居宅介護事業 (障害者総合支援法)  
※指定開始日 2014年7月1日
- ② 訪問介護事業 及び 第1号訪問事業  
(介護保険指定事業 及び 札幌市介護予防・日常生活支援総合事業)  
※指定開始日 2014年9月1日 (第1号訪問事業は2018年4月1日)
- ③ 移動支援 (札幌市地域生活支援事業)  
※指定開始日 2014年10月1日
- ④ 同行援護事業 (障害者総合支援法)  
※指定開始日 2015年4月1日
- ⑤ 重度訪問介護事業 (障害者総合支援法)  
※指定開始日 2015年4月1日

期間：2019年4月～2020年3月 (年間) 場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

#### 1. 事業内容

利用者の意思および人格を尊重し、支援計画に基づいたサービスを実施した。手話のできるヘルパーを派遣し、利用者にあったコミュニケーションを保障しながら、以下の支援を行った。

##### (1) 居宅介護事業

障害のある人の自宅に訪問し、身体介護や家事援助、各種相談・助言、また通院介助等を行い、住み慣れた地域で自立して日常生活を送ることができるように支援する一方、家族などの介護の負担の軽減を図った。

##### (2) 訪問介護事業及び第1号訪問事業

要介護・要支援状態にある人が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、利用者宅に訪問し身体介護や家事援助を行なった。

##### (3) 移動支援

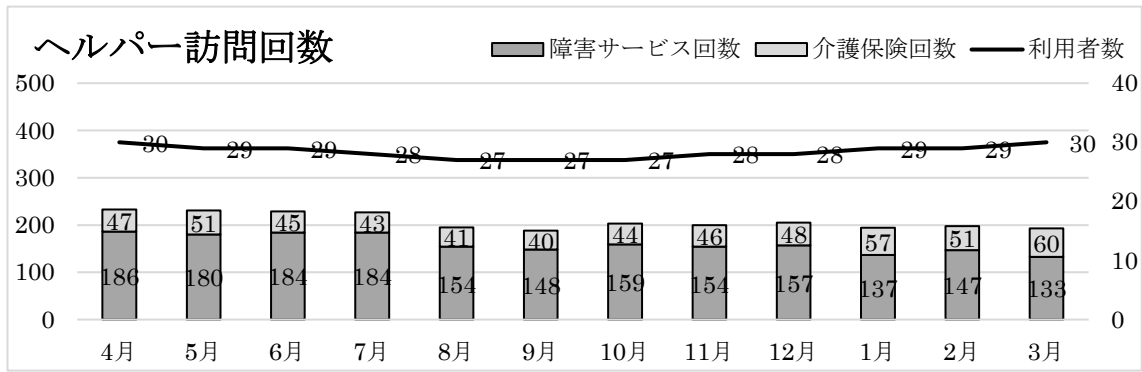
1人では外出困難な障害者(児)が、社会生活上必要不可欠な外出、及び余暇活動や社会参加のための外出の際に、移動の支援や身の周りの介護等を行なった。

##### (4) 同行援護事業

視覚障害者の外出(通院や社会参加、余暇活動など)に同行し、情報提供(代筆・代読を含む)や身体介護、その他外出に必要な支援を行なった。

##### (5) 重度訪問介護事業

重い障害がある人の自宅へ訪問し、居宅における身体介護や家事援助等生活全般にわたる援助を行なった。



【2019年度訪問回数内訳】

	障害福祉サービス							介護保険		合計
	居宅介護			同行 援護	重度 訪問 介護	移動 支援	受託 居宅 介護	訪問 介護	総合 事業	
	身体 介護	家事 援助	通院 介助							
4月	28	15	6	21	8	24	84	28	19	233
5月	29	15	4	22	4	21	85	31	20	231
6月	27	16	3	22	8	26	82	30	15	229
7月	27	16	4	21	9	24	83	25	18	227
8月	29	11	3	27	7	19	58	26	15	195
9月	25	11	2	22	8	20	60	24	16	188
10月	24	12	6	26	9	21	61	27	17	203
11月	27	10	3	25	9	17	63	33	13	200
12月	30	11	6	23	7	19	61	33	15	205
1月	25	10	6	23	8	12	53	37	20	194
2月	25	10	5	18	8	18	63	34	17	198
3月	27	10	4	8	7	9	68	41	19	193
計	323	147	52	258	92	230	821	369	204	2,496

2. 利用者の状況

【居住区別】

※白石区・東区に障害・介護併用1名

	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
障害福祉	10	2	1	1	0	0	1	0	2	0	17
介護保険	7	3	2	0	0	1	0	0	1	0	14
小計 人	※17	※5	3	1	0	1	1	0	3	0	※31

【要介護度・障害区分別】

要介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
		1	5	3	4	0	1	
障害区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	計
	2	4	5	3	1	2	0	

3. 職員等体制（2020年3月31日現在） 計10名

常勤 5名	管理者 兼 事務局長 1名 サービス提供責任者 兼 訪問介護員 1名 訪問介護員 1名 訪問介護員 兼 ほほえみ手稲介護員 2名
非常勤 5名	訪問介護員 5名 ※うち登録ヘルパー 5名

4. 今年度の成果・反省

- (1) ケアマネや相談員、ろう相、関連事業所との情報共有を密に行い、生活上の問題点を共有して支援し、生活の改善に貢献できた。
- (2) サービス提供責任者が1名体制となり、業務の偏りが生じた。仕事を分担するにも仕事内容を伝達する時間を作れず、サービス提供責任者に大きな負担が生じた。また残業や常勤訪問介護員の超過勤務も大きな問題であった。
- (3) 2019年度は訪問介護員の充足率が低く、新規問合せを断らなければならないことが多くあった。協会主催の職業説明会や事業所独自で手話サークルを周って職員募集の取り組みを行ったが効果はなかった。
- (4) 上記により収支もなかなか伸びず、事業のニーズは大きいもののそれに応えることが難しいため、2020年6月末をもって事業の廃止をする。

Ⅲ サービス付き高齢者向け住宅事業

高齢の聴覚障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、聴覚障害者向けの設備を完備し、コミュニケーションの配慮が行き届く住宅を開設し、管理・運営を行った。

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷

登録番号：札一16第12号（2016年8月19日登録）

期 日：2019年4月～2020年3月

場 所：札幌市手稲区稲穂2条7丁目5-7

介護事業：小規模多機能型居宅介護事業所併設

提供サービス：安否確認、生活相談、食事提供

1. 入居状況（2020年3月31日現在） 定員：20戸／24名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当月入居数(人)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
当月退去数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
入居戸数計(戸)	19	19	19	19	20	20	20	20	20	20	19	19
入居者数計(人)	23	22	22	22	23	23	23	23	23	22	21	21

2. 入居者状況（2020年3月31日現在）

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	69歳～ 99歳	男	女
人数	1	3	12	5	88.52歳			10

【要介護度別】＊平均要介護度：要介護1.19

要介護度 (人)	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	3	5	3	4	3	0	3	0	21

【夫婦等世帯数】

夫婦世帯	5 世帯	単身世帯	11世帯
------	------	------	------

3. 職員等体制 (2020年3月31日現在) 計20名

常勤兼務 5名	所長 兼 生活相談員 1名 生活支援員 4名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
非常勤兼務 6名	生活支援員 6名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
アルバイト 7名	食事準備・片付

4. 点検、修理、工事、防災対策等について

- (1) 8月(総合)と2020年2月(通報・避難誘導)に消防訓練を行った。  
介護度による避難の優先順位や夜間想定の場合の連絡網の確認など、4年目を迎えるにあたって様々な変化が生じているので、柔軟な対応が求められている。
- (2) 消防訓練の実施に合わせ、消防設備点検を行った。  
居室内設備を入居者が適切に使用するよう、個別に対応が必要な例があり、都度、説明を行っており、今後も継続したい。
- (3) 消防設備、エレベータ、その他建物の設備は、点検結果を定期的に行政に報告する義務があり、点検費用が発生する。他にも冷暖房設備や厨房設備など、定期的に点検が必要な設備が多数あり、そのための費用の貯えも必要である。
- (4) 防火対象物定期点検を今年初めて行った。建物内のカーテンやカーペットなどが防災使用になっているか、非常食の備蓄などはあるかなどが点検の対象となった。幸い大きな違反はなく終了した。

5. 今年度の成果・反省

- (1) サ高住と併設の小規模多機能型居宅介護、双方のサービス、利用方法等の整理は職員間での協議を積み重ね、改善されつつある。介護サービスを利用していない入居者へのサービス提供については、曖昧な点もあり、引き続き整理を進めていきたい。
- (2) 高齢化や疾病の重篤化に伴い通院が難しくなっている。病院との連携の仕方等ネットワークづくり、関係専門機関等との連携、職員のスキルアップに努めていきたい。
- (3) 近隣地域との関わりについて、連携強化にはあまり取り組めなかった。入居者の外出機会の増加を検討するとともに、地域のネットワークづくりにも努めたい。

#### IV 小規模多機能型居宅介護事業

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷に併設し、介護の支援が必要な入居者及び近隣地域の住民に対し、サービスを提供した。

小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲（事業所番号 0190400697）

指定開始日：2017年4月1日（指定通知書発行日：2017年3月27日）

事業：地域密着型小規模多機能型居宅介護及び  
介護予防小規模多機能型居宅介護

場所：手稲区稲穂2条7丁目5-7

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷 1階

面積：100.40㎡

定員：登録24名、通い12名、泊り4名

##### 1. 登録状況について

###### 【登録状況の推移】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数(人)	19	19	19	21	21	22	22	23	23	22	20	20
登録率(%)	79	79	79	87	87	91	91	95	95	91	83	83
新規	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0
再開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終了	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0

###### 【登録終了者の状況等】（2020年3月31日現在）

区分	施設入所	入院	その他	計
人数(人)	0	2	1	3

##### 2. 登録者の状況（2020年3月31日現在）

###### 【住居区別】

住居区	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
(人)	0	1	0	1	14	0	0	0	0	2	18

###### 【要介護度別】 \*平均要介護度：要介護1.48

要介護度(人)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	1	2	1	2	3	4	5	
	4	3	5	6	0	2	0	20

###### 【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	69歳～ 99歳	男	女
人数	1	3	12	4	85.2歳			6

### 3. サービス提供状況について

#### 【サービス利用延べ回数及び一人当たりの月平均利用回数】

	通い	訪問	宿泊	延回数	月平均回数
4月	434	1,538	7	1,979	21
5月	478	1,674	8	2,160	33
6月	466	1,522	6	1,994	24
7月	523	1,589	6	2,118	23
8月	528	1,610	7	2,145	23
9月	470	1,472	8	1,950	20
10月	497	1,588	6	2,091	22
11月	447	1,527	7	1,981	20
12月	463	1,501	7	1,971	19
1月	435	1,238	8	1,681	17
2月	361	1,144	6	1,511	18
3月	245	1,171	2	1,418	16
計	5,347	17,664	78	22,999	21.3

※月平均回数＝サービス提供延べ回数÷（当月日数×登録者数）×7

※月一人当たり平均利用回数は、週4日以上のみ

### 4. （介護予防）小規模多機能型居宅介護（短期利用型）

利用者の状態や家族等の事情により緊急に利用することが必要であると認め、登録定員の範囲内であり、サービス提供に支障がない場合、空いている宿泊室等を利用し、短期間のサービスを提供するものであるが、2019年度の利用実績はなかった。

### 5. 自家用有償旅客運送（福祉有償運送）

小規模多機能型居宅介護の登録者を会員とし、設定した料金において、車で数分の距離にある医療機関等へ個別輸送を行なった。

期間：2019年4月～2020年3月

対象：小規模多機能型居宅介護の登録者

体調、ケガ、筋力低下等による歩行困難などで、外出時に介助を要する人

料金：

距離	料金	備考
1km未満	100円	近隣の医療機関・店舗
1km～2km未満	300円	
2kmから500m毎	プラス50円	

【稼働状況】

	回数	距離(km)	目的		
			受診	買い物	その他
4月	25	53.3	22	1	2
5月	21	48.8	17	3	1
6月	17	36.8	13	3	0
7月	21	45.6	17	4	0
8月	21	63.3	16	5	0
9月	14	33.3	9	4	1
10月	9	63.6	7	1	1
11月	15	56.3	9	5	1
12月	18	69.8	14	3	1
1月	16	108.8	13	3	0
2月	9	15.8	9	5	1
3月	3	12.2	3	1	0
計	196	607.6	149	38	8

6. 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲運営推進会議

期間：2019年4月～2020年3月（年間6回開催）

会場：ほほえみの郷1階 居間・食堂

構成：利用者・町内会・地域包括支援センター・手稲区支部・

手稲区手話サークル・ほほえみの郷職員・ほほえみ手稲職員

月日	実施事業名等	内容概要
5月 8日	第1回運営推進会議	事業報告・職員の状況・行事報告・意見交換
7月10日	第2回運営推進会議	事業報告・行事報告・年間行事計画・意見交換
9月11日	第3回運営推進会議	事業報告・アンケートの結果報告・地震発生時の状況報告・意見交換
11月13日	第4回運営推進会議	事業報告・防災について・意見交換
1月15日	第5回運営推進会議	事業報告・今後の予定・意見交換
3月13日	第6回運営推進会議	新型コロナウイルスの為、中止

※年6回開催、奇数月に開催

7. 職員体制（2020年3月31日現在） 計14名

常 勤 8名	管理者 兼 計画作成担当者 1名 介護職員 6名 (内、ほほえみの郷生活支援員と兼務5名) 看護職員 1名
非常勤 7名	看護職員 2名 介護職員 5名 (いずれもほほえみの郷生活支援員と兼務)

## 8. 今年度の成果・反省

- (1) 12月には登録定員の割合が95%に達し、収益も目標額の300万を超えることが出来た。しかし、年末年始にかけて入院が相次ぎ年度末の3月には登録者20名と落ち込んでしまった。
- (2) 介護マニュアルの導入に伴い、基本的な考え方や支援方法を統一することができた。しかし、そこにこだわりを持つあまりに柔軟な動きが出来なくなってしまう例もあった。
- (3) 町内会・地域包括支援センター・札幌協手稲区支部・手話サークル等の協力のもと年間5回の運営推進会議を実施することができた。しかし、病欠や都合が合わず欠席などがあり全員そろっての会議が少なかった。
- (4) 新型コロナウイルスの影響で2週間ほど通いのサービス提供を中止した。その際の認知症の利用者の対応方法など新たな課題が見えてきた。感染症の対策を練る必要がある。

## V 介護支援センター共通

### 1. 職員の資格保有状況 (2020年3月31日現在)

	介護支援専門員	介護福祉士	ヘルパー2級等	正 看護 師	無資格
常勤	2	6	3	1	0
非常勤	0	2	3	0	0
登録	0	1	4	0	0
計	2	9	10	1	0
その他 主な 保有資格	社会福祉士、手話通訳士、精神保健福祉士、全身性障害者移動介護・行動援護・同行援護従業者、サービス管理責任者、認知症対応型サービス事業管理者、小規模多機能型サービス等計画作成担当者、准看護師他				

### 2. 研修受講

職員の資質向上のため、各種研修に参加及び自主開催し、研鑽に努めた。

	月 日	内 容	受講者数
外部 研 修	5月18日	認知症の高齢者虐待について	1
	7月18日～19日	看護師専門研修	1
	5月11日	札幌協職員研修 「札幌協のろうあ運動と事業発展」	6
		「アンガーマネジメント講座」	6
	9月16日	認知症専門医から学ぶ	2



		周辺症状に振り回されないケア	
	10月17日	2019年度現任専門職研修 利用者のケア向上のために	1
	10月24日	認知症ケアスキルアップ研修①	1
	10月26日	札幌協職員研修 「成年後見制度」	6
	8月23日	新任介護職員研修	1
	11月21日	認知症ケアスキルアップ②	1
	1月17日～18日	認知症介護実践研修(実践者研修)	1
	2月24日～25日	北海道認知症対応型サービス事業管理者研修	1
内部 研修	6月6日	ほほえみにおける水虫対策	7
	9月19日	盲ろう者として生きる	13

### 3. 行事等企画（ほほえみの郷・ほほえみ手稲）

入居者、利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。

※他=家族、ボランティア、講師、住民、通訳者など

月 日	内 容	場 所	参 加	内 訳			
				手 稲	郷	職 員	他
4月3日	ふまねっとで健康づくり	ほほえみの郷	20	1	12	3	4
4月15日	買い物レク	西友手稲店	4	2	/	2	0
4月16日	買い物レク	発寒イオン	4	2	/	2	0
4月17日	買い物レク	西友手稲店	4	2	/	2	0
4月18日	買い物レク	西友手稲店	4	2	/	2	0
4月19日	買い物レク	発寒イオン	7	4	/	3	0
4月24日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	15	9	1	2	3
5月10日	開所2周年記念会	すたみな太郎	36	1	22	13	0
5月21日	手話サークル手稲交流	ほほえみの郷	27	0	13	4	10
5月24日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	16	0	10	2	4
5月31日	料理レク(そば)	ほほえみの郷	16	1	10	5	0
6月23日	テレビデオ班	ほほえみの郷	23	0	14	3	6
6月28日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	12	0	8	1	3
7月3日	円山動物園外出	ほほえみの郷	36	2	18	9	7
7月26日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	17	1	9	3	4
8月9日	消防訓練	ほほえみの郷	31	1	22	8	0
8月23日	納涼祭	ほほえみの郷	40	0	21	13	6
8月30日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	19	1	14	1	3
9月13日	敬老のお祝い会	ほほえみの郷	32	3	20	7	2
9月27日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	14	0	9	1	4
10月6日	札幌ろうあ者文化祭典	障害者福祉センター	22	2	15	3	2
10月25日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	18	2	11	1	4
12月13日	クリスマス会	ほほえみの郷	31	2	20	8	1

12月22日	冬至	ほほえみ手稲	9	3	6	0
12月27日	餅つき	ほほえみの郷	17	1	11	3
1月1日	新年会	ほほえみの郷	24	0	19	5
1月22日	ふまねっとで健康づくり	ほほえみの郷	17	2	9	3
1月24日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	19	1	12	3
1月29日	買い物レク	発寒イオン	5	3	2	0
1月31日	節分	ほほえみの郷	25	0	20	5
2月1日	手話サークルやまびこ交流 おぼん作り	ほほえみの郷	22	0	9	2
2月5日	ふまねっとで健康づくり	ほほえみの郷	16	2	9	2
3月31日	開所3周年記念会	ほほえみの郷	30	2	17	10

#### 4. 取材等対応（ほほえみの郷・ほほえみ手稲）

全国手話通訳問題研究会 研究誌特集「支援力を高めるために」

岩谷誠司様 「ほほえみの郷」ではどのように聞こえない入居者に寄り添って支援提供をしているのかの取材。

#### 5. その他

- ①毎月発行するH S K札幌紙へ活動状況を掲載、発信した。（計11回）
- ②各事業所合同の機関紙「さっぽろ聴覚障害者介護支援センター通信」を発行し、関係者に配布し情報発信を行なった。（計4回）
- ③職員の健康診断と特定診断を予定通り行なった。（年1回）
- ④2020年2月からの新型コロナウイルスの感染拡大を受け、大々的に予防策を展開した。今後も命に係わる重篤な感染症などの予防策や対応策について議論を進めていかなければならない。

#### VI さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

期間：2019年4月～2020年3月（年間3回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	出席	回	月日	出席
1	2019年5月24日(金)	10名	3	2020年1月24日(金)	10名
2	2019年9月13日(金)	9名			

時間：19：00～20：45

委員名簿：

札幌手話サークル連絡協議会：中村博子氏、吉田美穂氏

札幌手話通訳問題研究会：中村雅子氏、宮本ゆかり氏

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：田村玲子氏、  
三澤美紀子氏

（公社）札幌聴覚障害者協会：宮内博子副理事長、森恵子理事

担当職員：有山将大センター長代行兼サ高住ほほえみの郷所長代行、  
塚本純子ヘルパーステーションほほえみ白石サービス提供責任者

本間慎一 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲所長

内容：センター事業（ヘルパーステーション、サ高住、小規模多機能型居宅介護）の現況報告および意見交換を行った。

## 【他1】相互扶助事業

### I 支部・青年部・女性部・高齢部等における各種行事の実施

#### 1. 支部事業

(1) 専門部会議での会計部、組織部、情報・コミュニケーション部会議

開催：月1回のうち5、8、1、3月は開催なし

会場：市視聴覚障がい者情報センター

#### ① 札幌聴覚障害者協会会員数

	2019年4月1日	2020年3月31日	増減	備考
正会員	413名	417名	+4	入会20名・退会16名 ※退会理由：市外転出、自己都合、その他
賛助	71名	72名	+1	

#### ② 区別会員数

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外	計
正	19	85	80	43	33	35	13	18	45	46		417
賛助	9	7	10	5	4	2	1	4	15	9	6	72

#### ③年代・性別別会員数（正会員）

(単位：名)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
男性	1	9	19	23	35	66	55	19	0	227
女性	2	8	17	18	41	47	39	16	2	190

#### ④H S K札幌聴障購読者数（有料購読者）

	2018年4月1日	2019年3月31日	2020年3月31日	増減
市内	99名	93名	81名	-12
市外	39名	36名	36名	±0
道外	2名	1名	1名	±0
合計	140名	130名	118名	-12

#### ⑤日本聴力障害新聞購読者数（札幌市内）

2018年3月31日	2019年3月31日	2020年3月31日	増減	※札幌協事務局での 新規購読 申込受付数：24名
213名	230名	234名	+4	

⑥季刊MIMI購読者数

2018年度	2019年度	増減
29名	35名	+6

【組織部】

専門部会議について

8月、1月、3月を除き、第一火曜日に開催し、各区支部の支部長、総務、会計部長に札幌協からの情報提供、日本聴力障害新聞、季刊MIMI（みみ）の購読者拡大等の意見交換をした。時には情報コミュニケーション部と合同で手話サークルとの関わり方について協議した。

2016年9月～2019年9月までサービス付き高齢者向け住宅「ほほえみの郷」への寄付運動の結果、2019年10月31日付で2,291,818円集まった。ご協力に感謝したい。

(2) 区支部（中央・北・東・白石・厚別・豊平・清田・南・西・手稲）が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

各区支部事業報告

区支部	行事事業名				
中央	5月19日 ボウリング交流会	7月21日 ビアガーデン交流会		12月7日 忘年会	
北	9月1日 野外交交流会		2020年1月5日 新年会		
東	パークゴルフ& 野外交交流会 (中止)	7月27日 元町 夏祭り	9月29日 フアカーリング 交流会	11月10日 東区手話 まつり	12月8日 クリスマス会
白石	9月29日 野外交交流会		12月14日 忘年会		
厚別	5月19日 春の親睦会	7月7日 支部・区内 サークル 交流会	8月2～3日 厚別区民祭り	12月7日 忘年会	2020年2月9日 ボウリング交流会
豊平	12月8日 ボウリング大会および忘年会				
清田	6月29日 滝野へ行こう会		12月14日 忘年会		
南	7月7日 七夕バザー	8月4日 社会見学	11月22日 ほほえみ事業 所見学会	12月14日 合同忘年会	12月22日 クリスマス バザー交流会
西	9月15日 野外交交流会		12月7日 クリスマス会		2月1日～2日 温泉交流会
手稲	7月7日 野外交交流会	9月15・16日 手稲神社祭 出店	10月27日 日帰り バスツアー	11月23日 区長杯ボウリ ング大会	12月14日 忘年会

2. 青年部、女性部、高齢部等の各々が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

(1) 青年部事業

①青年部事業報告

2019年6月8日	ダベリ場① 「デフトーク」	25名
9月14日	ダベリ場② 「野外交流会」	26名
11月17日	三部交流会「頭を使ったゲーム等」	25名
12月21日	全青研報告会&クリスマス会	32名
2020年2月9日	ダベリ場③「カーリンコン交流会」	23名
3月20日	定期総会	12名

②青年部会議：月1回開催 会場：市視聴覚障がい者情報センター

それぞれ担当を決めて事業を計画し、当日は多くの方が参加されました。交流を深めながら、青年部活動や事業など情報提供しました。

青年部活動の運営資金作りのため、「ミニノート」や「メモ帳」などグッズやコーヒーの販売を行いました。会員や各団体の温かいご支援ご協力のおかげで、円滑な活動ができました。

来年度も引き続き、活動を頑張っていきます。

(2) 女性部事業

①女性部事業報告

2019年8月21日	第32回がん検診（がん検診センター）	7名
11月17日	午前：社会生活教室	10名
	午後：三部交流会「ミニゲーム交流会」	25名
11月24日	午前：茶会話（全国ろうあ女性集会報告）	17名
	午後：社会生活教室	10名
2020年2月16日	午前：社会生活教室	21名
	午後：定期総会	25名

②女性部会議：月1回開催

会場：市視聴覚障がい者情報センター及び社会福祉総合センター

③社会生活教室：3回「和菓子づくり」「3B体操」

「生活習慣病について」

平成から令和に元号が変わった2019年度は、新体制でスタートしました。例年に引き続き女性部の活動のあり方、後継者育成、そして会員とのつながりなど課題がたくさんでしたが心機一転で出来ることから取り組んできました。

2019年度の事業は、会員が積極的に参加できるようにみんなで工夫しながら取り組んできましたが、まだまだ至らぬ点が多かったことや「何のために女性部があるのか」を踏まえて皆さんと一緒に課題を解決していけるように2020年

度は、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。

### (3) 高齢部事業

#### ①高齢部事業報告

日程	事業名	場所	参加人数
6月29日	パークゴルフ交流会	丘珠空港PG場	20名
7月24日	社会見学会（苫小牧市内）	王子製紙苫小牧工場、 苫小牧科学センター	28名
11月17日	三部交流会 「ミニ運動会」	身障福祉センター	25名
(10回)	役員会	市視聴覚障がい者 情報センター	
3月20日	高齢部総会（代議員会）	市視聴覚障がい者 情報センター	14名

#### 【参考】

2月4日北海道ろうあ連盟高齢部代議員総会

出席代議員

沼澤一夫・佐藤英治・佐々木昌美・谷水岩男・吉田雅敏・森良一・守屋弘之

### 3. 会員慶弔福利制度事業

①会員に慶弔がある時は、会員からの申請に基づき随時手続き処理をした。

<2019年度手続き件数>

(単位：件)

①結婚祝金	0	⑤銀婚祝金	0
②入学祝金	1	⑥入院見舞金	1
③長寿祝金	9	⑦災害見舞金	0
④銅婚祝金	0	⑧死亡弔慰金	2
			合計
			13

#### ②会員ポイント制度

ポイントカードを正会員一人ひとりに配付し、ポイントの受付を行った。ポイントカードの交換は、ほぼえみ商品券500円分またはクオカード500円分の選択ができるようにした。2019年度は2名2枚の交換があった。

### 4. 新年交礼会事業

新年も引き続き協力しながら聴覚障害者の福祉向上の実現に向け、心新たに活動が続けようと親睦と交流をかねて開催した。

「2020年新年交礼会」開催

期日：2020年1月11日（土）18：30～20：00

会場：市視聴覚障がい者情報センター

会費：1,500円

参加人数：138名

## II 聴覚障害者が参加する各種クラブ活動への助成等

### 1. 活動助成事業（文化系・スポーツ系・福祉系他）

以下のクラブに対し、活動助成金を支給した。

クラブ名	内容	代表者	会員数
＜文化系＞ 3クラブ			
デフフォトクラブ	写真	畠山 均	17名
札幌ろうあ劇団舞夢	手話劇	高橋 淨	7名
札幌デフ麻雀倶楽部	麻雀	今野 整	38名
＜スポーツ系＞ 5クラブ			
S. R. B. C(札幌ろうあボウリングクラブ)	ボウリング	池 正直	26名
サッポロデフバドミントンクラブ	バドミントン	佐藤 裕介	22名
札幌ろうパークゴルフクラブ	パークゴルフ	菊地 恒雄	27名
札幌ろうフロアカーリングクラブ	フロアカーリング	水除 弘子	21名
札幌デフカーリングクラブ	カーリング	一色 秀和	10名
＜性別・年齢別系＞ 1クラブ			
札幌ろうあ老人クラブ	老人親睦	守屋 弘之	72名
＜福祉系＞ 1クラブ			
とも	高齢ろうあ者・重複障害者支援	伊勢谷小枝子	45名

※S. D. F. C（札幌デフフットボールクラブ）、札幌ろうあゲートボールクラブ、札幌デフソフトバレーボールは、会員5名以下のため、対象外。

※札幌男子バレーボールクラブは助成金支給を辞退したため支給しなかった。

### 2. 札幌市視聴覚障がい者文化・スポーツクラブ等助成金交付事業（札幌市）

視聴覚障がい者の社会参加を推進し、その福祉向上を図るため、札幌市内において当該障がい者が自主的に運営する非営利の文化、スポーツクラブ、サークル団体の活動に要する経費の一部を助成するものであり、クラブ代表者会議第8回定例総会において交付対象のクラブを決定した。

（年間3クラブ）

2019年度助成金交付クラブ：札幌ろうパークゴルフクラブ  
札幌ろうあ劇団舞夢  
サッポロデフバドミントンクラブ

### 3. スポーツ大会開催事業・選手派遣等

（1）全道ろうあ者夏季体育大会への競技団体参加費助成事業

「第52回全道ろうあ者夏季体育大会」

テーマ：「ふれあうまち苫小牧でさわやかな風に吹かれよう」

期日：2019年6月21日（金）～6月23日（日）

場所：苫小牧市

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟

主管：苫小牧聴覚障害者協会

＜種目別参加人数(札幌)＞※重複参加有 (単位：名)

種目	参加人数	種目	参加人数
ボウリング	14	フットサル	3
バドミントン	10	ソフトバレーボール	10
パークゴルフ	22	フロアカーリング	12
		合計	71

(2) 全国ろうあ者体育大会への選手派遣事業

「第53回全国ろうあ者体育大会」

期日：2019年9月19日（木）～22日（日） 場所：鳥取・島根

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟

主管：公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会・島根県ろうあ連盟

第53回全国ろうあ者体育大会鳥取実行委員会・島根県実行委員会

＜種目別参加人数(札幌)＞ (単位：名)

種目	参加人数
ボウリング	1
バドミントン	6

4. 全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会への選手派遣補助金事業

2019年度は人数不足のため札幌男子バレーボールクラブは欠席した。

5. クラブ代表者会議及び運営会議

期間：2019年4月～2020年3月（年6回会議開催）

会場：市体障害者福祉センターなど

対象：文化・スポーツクラブの代表者及び担当

(1) クラブ代表者会議

回	日程・時間	主な内容	クラブ出席
1	2019年4月5日（金） 18：30～20：30	総会	10クラブ
2	2019年7月26日（金） 19：00～20：30	クラブ助成金申請書提出、 分担金納金 クラブの報告など、	9クラブ
3	2020年1月24日（金） 19：00～20：30	クラブ助成金支給、 クラブの報告など	10クラブ



(2) 運営会議

回	日程・時間	主な内容	出席人数
1	2019年5月24日(金)	2019年度の課題確認	4名
2	2019年12月4日(水) 19:00~20:30	規約一部改正など	3名
3	2020年4月20日(月) 19:00~20:30	総会、会計について	

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、第3回運営委員会は次年度4月になった。

(3) クラブ代表者会議加入クラブ (2020年3月31日現在)

①文化系3クラブ ②スポーツ系6クラブ

【クラブ支援部】

- 1、スポーツ系2クラブは今年度活動休止。
- 2、ホームページは、各クラブよりの情報がなかなか集まらないため、更新しないままになっているので休止する。
- 3、少子高齢化が進む中、クラブ数、会員数が減少している状況から各大会の参加も影響が出ている。個人主義の若者が多いと見られるが、社会の変化に合わせて対応していくことが重要である。
- 4、規約一部改正  
2020年度より文化にも派遣助成金支給対象になれるよう規約一部改正に向けて協議した。

Ⅲ 国際友好交流事業の実施

1. 中国瀋陽市聾人協会との友好交流行事の実施  
5年に一度の開催のため、実施せず。次回は札幌市において、2020年度に開催予定。
2. 韓国ろうあ者協会大田広域市協会との友好交流事業の実施  
3年に一度の開催のため、実施せず。2021年度に韓国大田広域市において、開催予定。

【他2】各種大会への協力及び支援事業

2019年度の事業なし。

## 【法人関係事業】

### 法人関係事業

- I さっぽろ夏まつり福祉協賛ビアガーデン（協力）  
 キリンビール（株）様の協力のもと、夏まつり福祉協賛ビアガーデンのビール券を行政や企業、団体、各区支部、クラブ、会員等へ販売普及した。
- 期間：2019年7月19日（金）～8月14日（水）  
 会場：大通公園西7丁目（キリンビール）  
 販売枚数：6,250枚

### II 総会・理事会・委員会・会議等の開催

#### 1. 社員総会開催

「第9回定時社員総会」

期日：2019年5月26日（日）9：45～15：20  
 会場：市視聴覚障がい者情報センター 大会議室  
 主な議題：2018年度事業報告及び決算報告、2019年度事業計画及び予算、規則・規程一部改正  
 代議員数：87名（開会時）出席：76名（内、委任6名含む）  
 （採決時）出席：76名（内、委任7名含む）

#### 2. 理事会開催

##### 1) 定時理事会

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	2019年4月20日	18：30～19：50	13名	2名
	4月21日	9：30～16：25	15名	2名
2	5月25日	18：30～19：50	15名	2名
3	6月30日	9：30～16：25	15名	2名
4	8月25日	9：30～16：00	15名	2名
5	10月20日	9：30～16：35	16名	1名
6	12月15日	9：30～16：25	16名	2名
7	2020年2月22日	18：30～20：45	16名	2名
	2月23日	9：30～16：50	16名	2名

##### 2) 臨時理事会

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	2019年5月26日	15：25～15：40	16名	1名
2	2020年3月25日	19：00～20：00	14名	2名

※理事会出欠票は別表P89に記載

### 3. 三役会議

期間：2019年4月～2020年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2019年4月10日(水)	4名	6	10月9日(水)	3名
2	5月8日(水)	4名	7	12月4日(水)	4名
3	6月5日(水)	4名	8	2020年2月9日(日)	4名
4	7月10日(水)	4名	9	※3月11日(水)	4名
5	8月9日(金)	4名	10	※3月17日(火)	4名

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、宮内博子副理事長、高嶋正博常務理事兼事務局長

内容：理事会で確認された事項の取り組みについて経過報告、次回理事会の議題、報告とする事項の確認、整理をおこなった。

※3月はテレビ電話会議

### 4. 経営会議

期間：2019年4月～2020年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2019年4月24日(水)	7名	6	9月24日(火)	8名
2	5月22日(水)	8名	7	11月26日(火)	9名
3	6月26日(水)	8名	8	2020年1月28日(火)	6名
4	7月24日(水)	7名	9	3月24日(火)	8名
5	8月27日(火)	9名			

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、宮内博子副理事長、高嶋正博常務理事兼事務局長、秋井利江聴覚障害者支援センター長、渋谷悌子コミュニケーション支援課長、樋口あやこさっぽろ聴覚障害者介護支援センター長（～8月27日）、有山将大さっぽろ聴覚障害者介護支援センター長代行（8月27日～）、京野大樹事務局次長、本間慎一ほほえみ手稲所長（11月26日）

内容：派遣事業、福祉サービス事業の事項及び人事について事項の確認等を行った。

### 5. 職員会議・研修

①日時：5月11日（土）

新人職員研修「札幌聴覚障害者協会のろうあ運動と事業発展」

講師 高嶋 正博 常務理事兼事務局長

職員研修「アンガーマネジメント講座」

講師 山本康夫 氏

（一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会

アンガーマネジメントファシリテーター

アンガーマネジメントティーンインストラクター)

②日時：10月26日（土）

職員研修「成年後見人制度について」

講師 及川啓紀氏（弁護士 田村・橋場法律事務所）

講演後、意見交換を行った。

6. 三団体懇談会

構成：札幌協・札幌サ連・札幌通研

期間：2019年4月～2020年3月（月1回・第3火曜日開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2019年4月16日	7名	7	11月19日	10名
2	5月21日	9名	8	12月17日	11名
3	6月18日	8名	9	2020年1月21日	10名
4	7月16日	10名	10	2月18日	9名
5	9月17日	10名	11	3月17日	8名
6	10月15日	8名			

札幌協：金原浩之副理事長・高嶋正博常務理事・福島太郎理事・京野大樹理事・若浜ひろ子理事

札幌サ連：宮本英行会長・中村博子副会長・堀井淑副会長・那須美枝子広報部長・菅野美智子広報次長

札幌通研：太田利実副運営委員長・中村雅子事務局長・渋谷悌子事務局次長  
宮本ゆかり広報部次長・佐藤 薫会計部次長

各団体の会員数、事業のお知らせ、活動状況報告、札幌市手話言語条例、研修センター後援会協力や取組みのお願いなど情報交換や日聴紙、札幌紙の購読者および手話研修センター後援会員の拡大の意見交換を深めている。

7. 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会

① 2019（令和元）年度定時総会

日時：5月15日（水）15：00～

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席者：理事長 渋谷雄幸（（一社）札幌市障がい者スポーツ協会理事）  
正会員団体代表の代理 常務理事 高嶋正博

② 2019（令和元）年度理事会（3回）

日時：①第1回2019年4月25日（木）15：00～

②第2回2019年5月15日（水）15：45～

③第3回2020年3月22日（日）15：00～

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席者：理事長 渋谷雄幸（（一社）札幌市障がい者スポーツ協会理事）

8. 札幌市障がい者によるまちづくりサポーター制度会議

日時：①2019年6月6日（木）10：00～12：00

②2019年8月23日（金）18：00～20：00

③2019年10月25日(金)14:00~16:00

場所：札幌市役所

委員：構成人数 12名

(公社)札幌聴覚障害者協会 佐藤正昭理事

札幌市身体障害者福祉協会 1名

NPO法人手と手 1名

北海道でヘルプマークを広げよう

真っ赤なマークを知ってっ会 1名

NPO法人北海道学習障害児・者親の会クローバー 1名

札幌みんなの会 2名

NPO法人北海道学習障害児・者親の会クローバー 1名

カトリック円山教会 1名

他 2名

(1) 発表

それぞれ「自身の障がい等」について。

(2) 活動テーマ

「災害に備えて」について

## 9. 2019(令和元)年度札幌市障害者週間記念事業実行委員会

(1) 実行委員会

日時：①2019年10月7日(月)14:00~

②2019年11月22日(金)14:00~

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席者：理事長 渋谷雄幸

(2) 区長表敬訪問

日時・場所：①2019年12月4日(水)手稲区

②2019年12月5日(木)西区、中央区

③2019年12月9日(月)豊平区、北区

出席者：理事長 渋谷雄幸

## 10. 聴覚に障がいのある方にかかる消費生活相談懇談会

日時：2020年1月20日(月)17:30~19:00

場所：札幌エルプラザ 会議室1・2

出席者：金原浩之副理事長、高嶋正博常務理事、佐藤正昭理事、越智誠理事、京野大樹理事、コミュニケーション支援課渋谷梯子課長、田中幸子職員

出席団体：公益社団法人札幌消費者協会、消費生活相談室、札幌市市民文化局市民生活部消費生活課

## 11. 障がい者コミュニケーション促進委員会

日時：2020年3月26日(木)

※新型コロナウイルス感染症拡大により延期

## 12. その他

(1) 北海道札幌聾学校 学校評議員会

趣旨：校長の求めに応じて、学校の教育目標及び計画、教育活動の実施、学校と地域との連携の進め方その他、校長が行う学校運営に関し、一人一人がそれぞれ責任において、校長に対し意見を述べる。

日時：①2019年6月20日(木) 9:30～11:00

②2020年2月6日(木) 9:30～11:00

場所：北海道札幌聾学校

出席者：公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長 渋谷雄幸

北区北地区民生委員・児童委員協議会(総務部長) 渥美健治

北海道教育大学岩見沢校教授 阿部宏行

札幌聾学校同窓会長 杉本五郎

北海道札幌聾学校PTA会長 及川和子

学校職員：校長 須見千慶、教頭 門眞義弘・飯出広行、

事務局長 中山聡

### (3) 第60回政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会

主催：政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会

期間：9月7日(土)～8日(日)

会場：ANAクラウンプラザホテル札幌

内容：開会式・全体会議・分科会

親善スポーツ大会開会式および交流会

参加：政令指定都市の14都市 参加数236名

分科会：【ろう者部会】①意見交換、②要望議題、③提案審議・採択

出席者：渋谷雄幸理事長、高嶋正博常務理事

### (4) 慶弔事業

①聴覚障害者支援センターほほえみ後援会創立10周年記念式典・祝賀会

日程：9月22日(日)

出席：宮内博子副理事長

②北海道札幌聾学校70周年記念事業

日程：11月1日(金)

出席：渋谷雄幸理事長

③厚別区支部創立30周年記念式典

日程：11月3日(日)

出席：若浜ひろ子理事

④公益社団法人北海道ろうあ連盟青年部創立50周年記念式典

日程：11月23日(土)

出席：宮内博子副理事長

### (5) ボランティア説明会

「聴覚障害者支援センターほほえみ」、「さっぽろ聴覚障害者介護支援センター」各所のボランティア募集に関する説明、グループ面談

日程：10月9日(水) 13:30～

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

出席：12名

(6) 職業説明会

職員募集にあたり、各事業の説明、グループ面談

日程：11月29日（金）18：30～

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

出席：12名

Ⅲ 「ゆずり葉」＆「段また段を成して」 上映会

2019年度映画「ゆずり葉」等全国一斉行動による「上映会」を実施した。

開催日 8月24日（土） 第一部 14時～（81名）

第二部 18時～（45名）

会 場 白石区民センター 大ホール

Ⅳ 公共施設の情報・コミュニケーションのバリアフリーの要請行動

施設内及び施設のHP上における聴覚活用の部分（音声によるもの）は、すべて「見える」化を要望するため、札サ連と札通研とともに各施設との意見交換会を実施した。

日付	会場・施設	出席理事
8月28日	札幌市時計台	高嶋・若浜・京野
8月29日	交通局（大谷地）	渋谷・高嶋・中・若浜・京野
9月2日	下水道科学館	高嶋・佐藤正昭・京野
	水道記念館	高嶋・佐藤正昭・佐藤尚行・京野
	経済観光局	高嶋・佐藤正昭・佐藤尚行・京野
9月4日	市民文化局市民生活課	渋谷・高嶋
	市民文化局文化振興課	渋谷・高嶋・福島・越智・京野
9月10日	教育委員会教育推進課	渋谷・高嶋・福島・越智・京野

Ⅴ 耳が聞こえない・聞こえにくい方のための手話教室

聞こえない、聞こえにくい方が初めて手話を学び、手話でコミュニケーションができることを目的に手話教室を開催した。

期間 2019年9月30日～12月16日（全10回）

毎週月曜日 18：00～20：30

受講 2名

パワーポイントやホワイトボード、パソコン等に文字表示をしながら進めた。後半になると受講生は手を動かすことに慣れ、表情も豊かになった。

VI 人事（採用・異動・退職）報告 【2019年4月1日～2020年3月31日】

①法人事務局
いとう ひな 伊藤日菜（2019年5月31日付退職） たかしま まさひろ 高嶋正博（2020年3月31日付退職）
②コミュニケーション支援課
もりかわりょう 森川 僚（2019年4月1日付任命 派遣事業主査） （2020年3月31日付解任 派遣事業主査解任） あきやま まみ 秋山麻美（2020年3月31日付退職）
③聴覚障害者支援センターほほえみ
もりや ゆり 森谷友理（2019年4月1日付任命 菓子工房ほほえみ主査） （2019年4月1日付身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員） えびな なおみ 蝦名尚美（2019年4月1日付任命 グループホームよつば主査） （2019年4月1日付身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員） ひろせ ゆきえ 廣瀬由紀江（2019年4月1日付採用 常勤嘱託職員） むらかみ まり 村上麻里（2019年4月1日付兼務 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲と兼務） （2019年7月11日付異動 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲） ささき やよえ 佐々木八代恵（2019年6月30日付退職） いしかわ こういち 石川幸一（2019年8月5日付採用 非常勤嘱託職員） たかやま 高山みゆき（2019年10月8日付採用 非常勤嘱託職員） とがし あきこ 富樫明子（2019年11月10日付退職） はたけ やまかずこ 畠山和子（2020年1月11日付異動 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲）
④さっぽろ聴覚障害者介護支援センター
ありや まさひろ 有山将大（2019年4月1日付身分変更 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲主査） （2019年9月11日付身分変更 センター長代行） じんあや 神文（2019年4月1日付身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員） きくち さとみ 菊地里美（2019年4月17日付採用 正職員） よしだ しづこ 吉田志津子（2019年4月22日付採用 非常勤嘱託職員） まつもと りか 松本利香（2019年5月1日付身分変更 常勤嘱託職員→正職員） たにほ みゆき 谷保美由紀（2019年5月1日付身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員） すがわら ふじえ 菅原藤枝（2019年5月10日付退職） なかむらち え 中村千恵（2019年7月10日付解任 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲所長解任） （2019年7月11日付任命 ホームヘルパー兼務） ほんましんいち 本間慎一（2019年7月11日付任命 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲所長） （2020年3月31日付解任 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲所長解任） ひぐち 樋口あやこ（2019年9月11日～休職 産前・産後・育児休暇） くどうようこ 工藤蓉子（2019年11月30日付退職） あらかわ まゆみ 荒川真由美（2020年3月11日付採用 非常勤嘱託職員）



※職員等体制について

(92名(常勤役員・アルバイト・非常勤契約含む) 2020年4月1日現在)

- ① 法人事務局(手話普及事業・情報支援事業) (11名)  
事務局長1名、職員9名 計10名(正職員3名、常勤嘱託6名、非常勤嘱託1名)  
聴能言語訓練指導員(非常勤契約) 1名
- ② コミュニケーション支援課(手話通訳派遣事業係(医療手話通訳者派遣事業含む)、養成事業係) (22名)  
課長1名、係長2名、職員8名、アルバイト11名 計22名(正職員4名、常勤嘱託3名、非常勤嘱託4名、アルバイト11名)
- ③ 聴覚障害者支援センターほほえみ (27名)
  - ㊦聴覚障害者地域活動支援センター(ほほえみ西)  
所長1名、職員2名 計3名(常勤嘱託2名、非常勤嘱託1名)
  - ㊧ほほえみ作業所 就労継続支援B型事業(ほほえみ作業所)  
共同生活援助事業(グループホームよつば)  
所長1名、職員8名、アルバイト3名 計12名(正職員1名、常勤嘱託5名、非常勤嘱託3名、アルバイト3名)
  - ㊨ほほえみカフェ(就労継続支援B型事業(ほほえみカフェ、菓子工房ほほえみ、ほほえみ食堂))  
センター長・店長(兼務) 1名、職員9名、アルバイト2名 計12名(正職員1名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託7名、アルバイト2名)
- ④ さっぽろ聴覚障害者介護支援センター (32名)
  - ㊩ヘルパーステーションほほえみ白石  
白石 職員3名、登録ヘルパー5名、計8名(常勤嘱託3名 うち手稲兼務1名、登録5名)
  - ㊪小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲  
所長1名、職員11名 計12名(正職員5名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託5名)
  - ㊫サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷  
センター長・所長(兼務) 1名(育児休職中)、アルバイト7名 計8名(正職員1名、アルバイト7名)
  - ㊬ほほえみの郷  
施設長1名 計1名(常勤役員1名)
  - ㊭デイサービスほほえみ白石  
管理者1名 職員4名 計5名(正職員3名 うち2名手稲兼務 非常勤嘱託2名)

別表【理事会出欠表】

役職	氏名	1		2	3	4	5	6	7		臨時	臨時
		4/20	4/21	5/25	6/30	8/25	10/20	12/15	2/22	2/23	5/26	3/25
理事長	渋谷 雄幸	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	金原 浩之	出	出	出	出	※出	出	出	出	出	出	出
副理事長	宮内 博子	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
常務理事	高嶋 正博	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	中 和彦	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	福島 太郎	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	若浜ひろ子	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	佐藤 正昭	欠	出	出	欠	出	出	出	出	出	出	出
理事	野口 和伸	欠	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	越智 誠	出	出	出	出	出	出	出	欠	出	出	欠
理事	河村 明子	出	出	出	—	—	—	—	—	—	—	—
理事	佐藤 英治	出	出	出	出	欠	出	出	出	出	出	出
理事	畠山 和子	—	—	—	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	京野 大樹	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	佐藤 尚行	—	—	—	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	美馬伸隆	出	出	出	—	—	—	—	—	—	—	—
理事	福岡 静枝	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	森 恵子	出	出	出	出	出	出	出	欠	出	出	欠
監事	東出 昇	—	—	—	出	出	欠	出	出	出	出	出
監事	新田 由香	—	—	—	出	出	出	出	出	出	欠	出
監事	福島 紫	出	出	出	—	—	—	—	—	—	—	—

出：出席・欠：欠席・※の印は遅参・早退